

METASEQUOIA

(山口大学保健管理センター年報)

NO.22 2018・2019 年度



山口大学保健管理センター

巻 頭 言

今回も、保健管理センター年報「METASEQUOIA第22号」を発行することができました。この年報は、保健管理センターの活動状況をまとめたもので、二年毎に定期的に発刊しています。我々の活動を振り返る良い機会でもあり、日常業務の見直しにも大変役立っています。今回の第22号は、2018・2019年度2年間分の年報となっており、PDF版として保健管理センターホームページに掲載しています。詳細は、本文をご参照ください。

保健管理センターでは、学生・教職員の健康増進・疾病予防だけでなく、大学構成員の心身の健康実態を把握・解析研究し、必要な健康サポート対策に取り組み、啓発活動にも力を入れています。その活動の三本柱が、①健康診断の実施とその結果に基づく健康管理・健康増進支援、②心身の健康相談・支援、③安全衛生推進活動とその支援、となっています。病気の予防、健康確保の面から、学生・教職員個人、そして大学組織に対して、専門的な立場から支援・提案をしています。さらにその成果を外部にも発信しています。そのために、吉田・常盤・小串の3キャンパスにそれぞれ室を設け、多様化するニーズに対応するため、限られたスタッフが協力しながらフル活動しています。幸いなことに、2018・2019年度も新入生健康診断受診率100%を維持することができ、在学生・大学院生の健康診断受診率も徐々にではありますが増加しています。また、学生・教職員とも適正体重者の割合が増えつつあります。さらに、学内他部門とも密に協力して、障がい者支援や、教職員のストレスチェックへの対応、さらに増加する留学生へも対応しています。職場環境改善や感染症蔓延対策(ワクチン接種勧奨)にも力を入れています。

各学生・教職員が充実したキャンパス生活を送ることができるように、保健管理センターは今後も大学構成員の皆様方をできる限りサポートしたいと考えています。特に、学生に対する健康予防教育・啓発活動は、生涯健康を守るため、さらに人間力をつけるための第一歩と言えます。我々はこの重要な役割を自覚し、益々精進して、頑張っていきたいと思っています。

今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(山口大学教育・学生支援機構 保健管理センター所長 奥屋 茂)

目 次

巻頭言 山口大学保健管理センター所長 奥 屋 茂

I 学生の健康管理

1. 定期健康診断	1
1) 対象と概要	
2) 受診状況	
(1) 2018 年度	
(2) 2019 年度	
3) 新入生健康診断	
(1) 新入生健康調査	
(2) 新入生健康診断概況	
(3) 新入生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 胸部 X 線検査	
⑤ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
⑥ 心電図検査	
4) 在学学生健康診断	
(1) 学部生健康診断概況	
(2) 学部生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 聴力検査	
⑤ 胸部 X 線検査	
⑥ 心電図検査	
⑦ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
(3) 大学院生健康診断概況	
(4) 大学院生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 聴力検査	
⑤ 胸部 X 線検査	
⑥ 心電図検査	
⑦ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
5) 秋季入学生健康診断	
(1) 対象と概要	
(2) 受診状況	
2. 特別健康診断	24
1) スポーツ関係者健康診断	
(1) 対象と概要	
(2) 受診状況	
2) 獣医師免許取得のための健康診断	
(1) 対象と概要	
(2) 受診状況	

- 3) 肺結核接触者健康診断
 - (1) 対象と概要
 - (2) 受診状況
- 4) 帰国後健康状況チェック
 - (1) 対象と概要
 - (2) 受診状況

II 職員の健康管理

1. 定期健康診断	31
1) 対象と概要	
2) 受診状況	
(1) 職員健康診断概況	
(2) 体格(BMI)	
(3) 血圧測定	
(4) 尿検査	
(5) 聴力検査	
(6) 胸部X線検査	
(7) 血液検査	
(8) 心電図検査	
2. 特定業務従事者健康診断	42
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
3. 特殊健康診断(電離放射線)	44
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)	47
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
5. がん検診等	50
1) 対象と概要	
2) 受診状況	

III 山口大学の安全衛生管理

1. 安全衛生管理体制	55
2. 山口大学における主な取り組み	56
1) 敷地内禁煙	
2) 働き方改革関連法への対応	
3) ストレスチェック実施方法の見直し	
3. 安全衛生に関する日常業務内容	
1) 学内巡視	
2) 作業環境測定	
3) ひやりはつと報告	
4) 安全衛生教育	
5) 安全衛生委員会等	

IV 特別事業報告

1. 研究業績一覧	59
2. 研究費等交付	61
3. 講演その他	62
4. 医療講習会	64
5. 保健管理センター便り発行	65

V 保健管理センター利用状況

1. 医療機関紹介	66
1) 山口地区	
2) 常盤地区	
3) 小串地区	
2. 月別利用状況内訳	69
1) 2018年度	
2) 2019年度	
3) 2018, 2019年度(全地区)	
3. 健康診断証明書発行状況	76
1) 2018年度	
2) 2019年度	
4. カウンセリング相談件数(山口地区)	78
1) 2018年度	
①各学部・学年の対象者別の相談件数(新規のみ)	
②相談内容別の回数(新規・継続)	
2) 2019年度	
①各学部・学年の対象者別の相談件数(新規のみ)	
②相談内容別の回数(新規・継続)	

VI 保健管理センターの業務その他

1. 保健管理センターの業務内容	82
2. 保健管理センターの関係職員	82
3. 保健管理センターの年間主要行事	83
1) 2018年度	
2) 2019年度	

I 学生の健康管理

I 学生の健康管理

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、本学に在籍する全ての学生(学部生、大学院生、留学生、研究生等)を対象として、健康診断を年1回実施している。

本学は、山口市(吉田地区)と宇部市(常盤地区、小串地区)にキャンパスが分散している。吉田地区には人文学部・教育学部・経済学部・理学部・農学部・共同獣医学部・国際総合科学の7学部、常盤地区には工学部、小串地区には医学部があり、キャンパスごとに健診会場を設けて実施している。各地区の健康診断は、健診スタッフや健診機器台数の都合上、実施時期が重ならないよう計画・調整している。なお、健康診断の実施、方法および技術的基準については、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則に準拠して行っている。

- ①新入生健康診断：全学部新入生を対象に実施。健康診断会場は吉田地区保健管理センター。
(実施期間) 2018年：4月3日～7日(実質4日)、2019年：4月2日～6日(実質3.5日)
- ②在学生健康診断：4月1日現在で2年生以上の学部生、大学院生、留学生、研究生等を対象に実施。
各年度の健診会場及び実施期間は以下の通り。
- <吉田地区> (健診会場) 保健管理センター(事務局1号館)
(実施期間) 2018年：4月10日～19日、2019年：4月9日～18日(各年度実質7.5日)
- <常盤地区> (健診会場) 工学部福利厚生棟・本館西棟セミナー室
(実施期間) 2018年：4月23日～26日、2019年：4月22日～25日(各年度実質3.5日)
- <小串地区> (健診会場) 医学部医心館(福利厚生棟)
(実施時期) 2018年：5月7日～8日、2019年：5月13日～14日(各年度実質2日)

表1 各検査の対象者および検査項目

		身長	体重	視力	聴力	血圧	尿検査	心電図	内科診察	胸部X線	問診	備考
新入生		◎	◎	◎	—	◎	◎	◎	○	◎	◎	心理検査(UPI・SDS等)を全員に実施
吉田地区	2年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	
	3年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	
	4年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	共同獣医4年生は同学部5年生と同項目
	5年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	共同獣医学部
	6年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	大学院生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	修士、博士課程
宇部地区	2年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	△	—	医学部2・3年生は必須ではないが胸部X線検査の受診を推奨
	3年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	△	—	医学部2・3年生は必須ではないが胸部X線検査の受診を推奨
	4年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	医学科4年生は同学科5年生と同項目
	5年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	◎	—	医学部医学科
	6年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	医学部医学科
	大学院生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	修士、博士課程
留学生 研究生等		基本的には、全検査項目										

本学で実施している検査項目と各検査項目の対象者を表1に示した。◎印は全員が行う項目(必須項目)、○印は医師が必要と判断した者、△印は必須項目ではないが検査を希望する者あるいは毎年検査の指示を受けている者に行う項目を表す。

2) 受診状況

2018年度及び2019年度の学部別定期健康診断受診状況を表2～7に示した。

(受診状況には学外医療機関受診し、結果を提出した学生(2018年度70名、2019年度30名)を含む)

(1) 2018年度

①学部新入生

表2 新入生受診状況(2018年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
対象者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※入学者2019名中入学直後から休学2名を除外し集計

②学部在学学生

表3 在学学生受診状況(2018年度)

		教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	工	医	学部全体
受診者数	497	552	845	576	303	157	170	1374	941	5415
対象者数	612	620	1179	721	325	163	206	1840	977	6643
受診率	81.2	89.0	71.7	79.9	93.2	96.3	82.5	74.7	96.3	81.5

学部		2年	3年	4年	5年	6年	学部全体	
吉田地区	人文学部	受診者数	163	158	176		497	
		対象者数	208	173	231		612	
		受診率	78.4	91.3	76.2		81.2	
	教育学部	受診者数	189	182	181		552	
		対象者数	192	191	237		620	
		受診率	98.4	95.3	76.4		89.0	
	経済学部	受診者数	229	293	323		845	
		対象者数	348	361	470		1179	
		受診率	65.8	81.2	68.7		71.7	
	理学部	受診者数	186	198	192		576	
		対象者数	232	279	210		721	
		受診率	80.2	71.0	91.4		79.9	
	農学部	受診者数	107	96	100		303	
		対象者数	116	101	108		325	
		受診率	92.2	95.0	92.6		93.2	
	共同獣医学部	受診者数	33	32	30	33	29	157
		対象者数	34	32	33	34	30	163
		受診率	97.1	100.0	90.9	97.1	96.7	96.3
	国際総合科学部	受診者数	90		80			170
		対象者数	104		102			206
		受診率	86.5	留学中	78.4			82.5
小串地区	医学部	受診者数	251	234	238	112	106	941
		対象者数	260	247	241	115	114	977
		受診率	96.5	94.7	98.8	97.4	93.0	96.3
常盤地区	工学部	受診者数	401	500	473			1374
		対象者数	540	755	545			1840
		受診率	74.3	66.2	86.8			74.7
学部全体	受診者数	1649	1693	1793	145	135	5415	
	対象者数	2034	2139	2177	149	144	6643	
	受診率	81.1	79.1	82.4	97.3	93.8	81.5	

③大学院生

表4 大学院生受診状況(2018年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	全体
受診者数	363	604	71	1038
対象者数	509	762	211	1482
受診率	71.3	79.3	33.6	70.0

(2) 2019年度

①学部新入生

表5 新入生受診状況 (2019年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
対象者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※入学者1969名中入学直後から休学6名を除外し集計

②学部在学生

表6 在学生受診状況 (2019年度)

		教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	工	医	学部全体
受診者数	494	569	841	563	284	160	261	1452	969	5593
対象者数	622	598	1166	725	315	165	322	1867	987	6767
受診率	79.4	95.2	72.1	77.7	90.2	97.0	81.1	77.8	98.2	82.7

学部		2年	3年	4年	5年	6年	学部全体	
吉田地区	人文学部	受診者数	171	159	164			494
		対象者数	223	188	211			622
		受診率	76.7	84.6	77.7			79.4
	教育学部	受診者数	193	186	190			569
		対象者数	193	192	213			598
		受診率	100.0	96.9	89.2			95.2
	経済学部	受診者数	266	278	297			841
		対象者数	348	346	472			1166
		受診率	76.4	80.3	62.9			72.1
	理学部	受診者数	190	186	187			563
		対象者数	228	273	224			725
		受診率	83.3	68.1	83.5			77.7
	農学部	受診者数	87	103	94			284
		対象者数	103	109	103			315
		受診率	84.5	94.5	91.3			90.2
	共同獣医学部	受診者数	31	33	32	29	35	160
		対象者数	32	34	35	29	35	165
		受診率	96.9	97.1	91.4	100.0	100.0	97.0
	国際総合科学部	受診者数	87	90	83			261
		対象者数	103	103	116			322
		受診率	84.5	88.3	71.6			81.1
小串地区	医学部	受診者数	246	242	244	117	120	969
		対象者数	254	251	244	117	121	987
		受診率	96.9	96.4	100.0	100.0	99.2	98.2
常盤地区	工学部	受診者数	499	458	495			1452
		対象者数	571	732	564			1867
		受診率	87.4	62.6	87.8			77.8
学部全体	受診者数	1770	1735	1786	146	155	5593	
	対象者数	2055	2228	2182	146	156	6767	
	受診率	86.1	77.9	81.9	100.0	99.4	82.7	

③大学院生

表7 大学院生受診状況 (2019年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	全体
受診者数	368	588	69	1025
対象者数	474	693	220	1387
受診率	77.6	84.8	31.4	73.9

3) 新入生健康診断

(1) 新入生健康調査

本学では、新入生のメンタルスクリーニングとして、UPI（大学人格検査）、SDS（Zung 自己評価式うつ病尺度）、Eating Attitude Test-26（EAT-26）を実施している。スクリーニングテストは健康診断票および健康診断問診票と共に「入学の手引き」に綴じこまれている。

スクリーニングの目的は、発病する可能性の高い学生や罹病学生を入学後の早い時点で発見し、健康教育や保健指導を行うこと、必要な治療へつなげることである。回答用紙（マークシート）の提出は新入生健康診断時であり、回答用紙回収率は2018年度が97.7%、2019年度が97.8%であった。（表8）。

スクリーニングの呼出基準は、UPI と SDS に関しては、①「UPI-LS 得点（UPI 総得点から Lie スコア得点を減算）が 30 点以上」および「SDS 総得点が 50 点以上」、②「UPI 質問項目 25 番（死にたくなる）にチェックしている」のいずれかに該当する学生が対象である。また、EAT-26 に関しては、合計点 20 点以上もしくは無月経（既往含む）の項目に○をつけている学生が対象である。面談来室時に看護職が身体計測、家族歴や生活状況の聴取を担当し、呼出の内容に応じて精神科医および臨床心理士による面談を実施している。面談は学生定期健康診断終了後の5月中旬から実施している。

2018年度及び2019年度の健康調査における呼出対象者数及びスクリーニング検査（面談）受診状況を表9～12に示した。表に示されている通り、呼び出し対象者の面談受診率は2018年度が97.4%、2019年度は91.3%と2015年度以降は9割以上の面談率となっている。（2014年度までは5割と低値であった。）

面談後の事後措置としては「異常なし」が大多数であるが、「要治療」の判定となった者は2018年度が5名、2019年度が6名であった。

呼び出しの連絡は個別に電話やメールにて連絡を取り、面談受診につなげている。

表 8 健康調査票回収率

	2018 年度			2019 年度			
	対象者数	回収数	回収率%	対象者数	回収数	回収率%	
人 文	208	204	97.8	198	193	97.5	
教 育	192	188	99.0	187	187	100.0	
経 済	349	343	97.2	361	356	98.6	
理	229	223	96.5	222	217	97.7	
医	医	107	105	98.1	107	101	94.4
	保健	121	120	99.2	121	120	99.2
工	575	549	97.7	534	518	97.0	
農	100	98	98.1	104	100	96.2	
共同獣医	33	31	100.0	32	32	100.0	
国際総合科学部	105	102	96.2	103	102	99.0	
合 計	2019	1963	97.7	1969	1926	97.8	

表9 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2018年度）

		EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	EAT+U25	合計
人文		9	9	11	0	30
教育		7	5	4	0	16
経済		13	3	15	2	35
理		9	4	11	1	25
医	医	7	0	0	7	11
	保健	5	1	8	5	10
工		16	6	16	0	39
農		3	4	3	1	11
共同獣医		1	0	1	0	2
国際総合科学部		8	0	3	1	12
合計		78	32	72	5	191

表10 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2018年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診者率 (%)	事後措置				
				異常なし	要観察	要治療	判定保留	
人文	30	30	100.0	21	9	0	0	
教育	16	15	93.8	11	3	1	0	
経済	35	34	97.1	23	10	1	0	
理	25	24	96.0	18	6	0	0	
医	医	11	10	90.9	9	1	0	0
	保健	21	10	47.6	7	3	0	0
工	39	38	97.4	34	4	0	0	
農	11	11	100.0	8	3	0	0	
共同獣医	2	2	100.0	2		0	0	
国際総合科学部	12	12	100.0	8	1	3	0	
合計	191	186	97.4	141	40	5	0	

表11 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2019年度）

		EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	US+U25	EAT+U25	合計
人文		9	0	11	0	2	23
教育		8	5	6	0	1	20
経済		13	6	8	0	0	27
理		4	7	12	0	1	24
医	医	4	1	3	0	0	8
	保健	14	0	2	0	0	16
工		9	8	17	0	1	35
農		2	2	6	0	0	10
共同獣医		0	0	1	0	1	2
国際総合科学部		3	0	3	0	1	7
合計		66	29	69	0	7	172

表 12 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2019 年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診者率 (%)	事後措置				
				異常なし	要観察	要治療	判定保留	
人文	23	23	100.0	15	6	1	0	
教育	20	19	95.0	14	3	2	0	
経済	27	23	85.2	22	1	0	0	
理	24	21	87.5	12	8	1	0	
医	医	8	7	87.5	6	1	0	0
	保健	16	13	81.3	11	1	1	0
工	35	34	97.1	29	5	0	0	
農	10	9	90.0	7	2	0	0	
共同獣医	2	2	100.0	0	2	0	0	
国際総合科学部	7	6	85.7	5	0	1	0	
合計	172	157	91.3	121	29	6	0	

(2) 新入生健康診断概況

学生健康診断票と新入生健康診断問診票は、入学の手引きに綴じ込み、入学手続き関係書類とともに事前に配布している。特異体質や既往歴なども含めて事前に自宅で記入し、健康診断当日に持参することになっている。また、問診票には保護者からの要望記入欄も設けている。さらに、学生健康診断票の裏面には学校感染症の罹患歴や予防接種自己申告書欄があり、記入された情報を感染症対策に活用している。健康診断受診の周知徹底により、2018・2019年度の学部新入生の受診率も100%を達成した。なお、入学後すぐに休学となった学生については受診対象外とした(2018年度2名、2019年度6名)。

(3) 新入生健康診断結果

①身長・体重計測

2018年度と2019年度のBMI判定結果を表13に、最近5年間のBMI判定結果を図1、2に示した。男女ともに70%強は基準値内にあるが、男子の肥満、女子のやせの動向には引き続き注意を要する。

表13 BMI判定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2018	男	1213	1212(99.9)	180(14.9)	861(71.0)	141(11.6)	26(2.1)	3(0.2)	1(0.1)
	女	804	804(100.0)	138(17.2)	609(75.4)	50(6.2)	6(0.7)	1(0.1)	0(0.0)
	計	2017	2016(99.9)	318(15.8)	1470(72.9)	191(9.5)	32(1.6)	4(0.2)	1(0.05)
2019	男	1150	1150(100.0)	159(13.8)	848(73.7)	116(10.1)	18(1.6)	8(0.7)	1(0.1)
	女	813	813(100.0)	125(15.4)	635(78.1)	44(5.4)	5(0.6)	3(0.4)	1(0.1)
	計	1963	1963(100.0)	284(14.5)	1483(75.5)	160(8.2)	23(1.2)	11(0.6)	2(0.1)

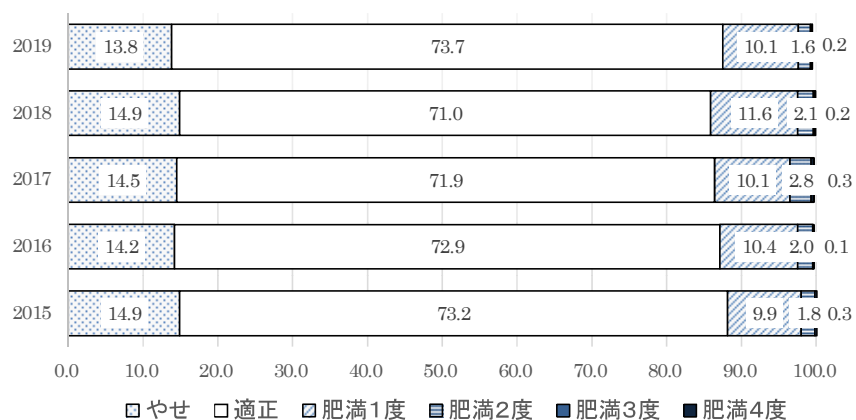


図1 BMI判定区分(男子)



図2 BMI判定区分(女子)

②血圧測定

2018年度と2019年度の血圧測定結果を表14に、年度別有所見率(男女別)を図3、4に示した。

一次検査における有所見率の推移に大きな変化はなく、2018年度6.3%、2019年度は6.1%(前回:5.5%<2016>、6.2%<2017>)、男子は境界域高血圧、女子は低血圧が目立つ傾向にあった。各年度ともに二次検査の受検率は70%程度に留まっている。

表14 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	1213	1212(99.9)	7	92	1111	2	46	32	1	0	13
	女	804	804(100.0)	2	8	779	15	8	6	0	0	2
	計	2017	2016(99.9)	9	100	1890	17	54	38	1	0	15
2019	男	1150	1150(100.0)	20	87	1038	5	70	45	5	0	20
	女	813	813(100.0)	1	2	805	5	1	0	0	0	0
	計	1963	1963(100.0)	21	89	1843	10	71	45	5	0	20

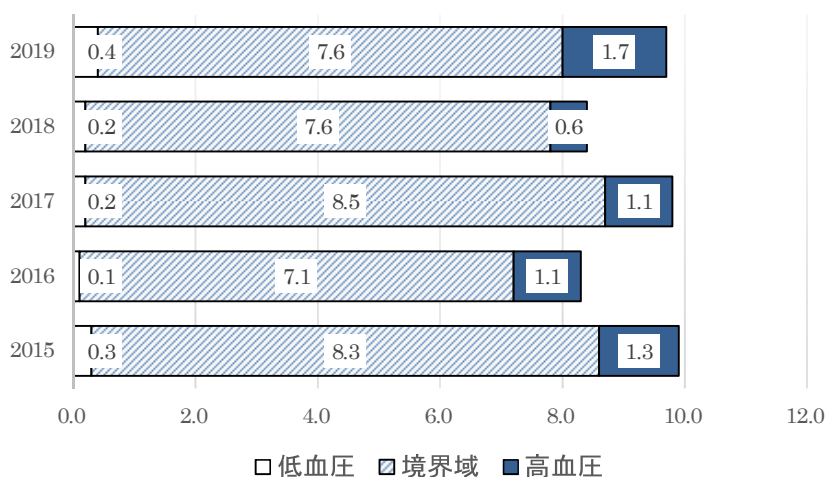


図3 血圧有所見率(男子)

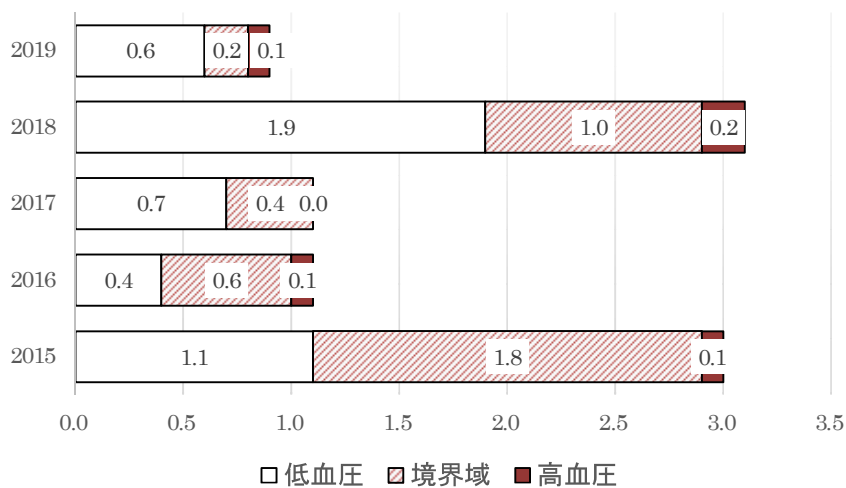


図4 血圧有所見率(女子)

③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表15に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度は13.3%、2019年度は11.4%であった(前回:11.9%<2016>、11.0%<2017>)。最も多い所見は「蛋白尿」であった。なお、二次検査の受検率は、2018年度は88.0%、2019年度は94.8%と改善していた(前回:71.8%<2016>、84.6%<2017>)。再検査お知らせの際に詳しく説明し、また、健康診断証明書申請時に未受診者に再検査を促していることも、有効であると思われた。

表15 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	1213	1210	159	106	9	54	1051	34	125(2)	108	97	3	8	10
	女	804	799	109	46	1	70	690	32	77	68(1)	66(1)	1	1	1
	計	2017	2009	268	152	10	124	1741	66	202(2)	176(1)	163(1)	4	9	11
2019	男	1150	1143	116	65	10	47	1027	27	89(5)	78(2)	72(2)	2	4	8
	女	813	805	106	50	5	57	699	32	74(3)	69(2)	65(1)	0	4(1)	6
	計	1963	1948	222	115	15	104	1726	59	163(8)	147(4)	137(3)	2	8(1)	14

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の()内の数値は三次検査実施者数で外数

④胸部X線検査

2018年度と2019年度の胸部X線検査結果を表16に示した。

一次検査での肺野有所見率は、2018年度は1.4%、2019年度は1.4%であった(前回:0.7%<2016>、1.6%<2017>)。

表16 胸部X線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1213	1029(99.7)	18	17	1	1195	1	16	15	12	2	1
	女	804	803(99.9)	10	10	0	794	0	10	10	9	1	0
	計	2017	2012(99.8)	28	27	1	1989	1	26	25	21	3	1
2019	男	1150	1149(100.0)	17	11	6	1142	3	5	5	3	1	1
	女	813	813(100.0)	10	2	8	811	0	2	1	1	0	0
	計	1963	1962(99.9)	27	13	14	1953	3	7	6	4	1	1

⑤内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018年度と2019年度の問診票所見結果を表17に、年度別有所見率を図5に示した。

自覚症状を中心とした有所見者数の割合は、2018年度は22.5%、2019年度は25.0%であった(前回：32.2%<2016>、46.0%<2017>)。保健管理センター専任医師が内容・所見再確認等で絞り込むことで、二次検査対象者の割合は1.1~1.2%程度であった。

表17 内科診察・問診所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査				二次検査(呼出結果)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介
2018	男	1213	1029(99.7)	228(23.8)	921	270	18	18	1	12	5
	女	804	803(99.9)	166(20.7)	637	159	7	7	0	4	3
	計	2017	2012(99.8)	454(22.5)	1558	429	25	25	1	16	8
2019	男	1150	1149(99.9)	343(29.9)	806	329	14	13	0	7	6
	女	83	813(100.0)	147(18.1)	666	140	7	4	0	1	3
	計	1963	1962(99.9)	490(25.0)	1472	469	21	17	0	8	9

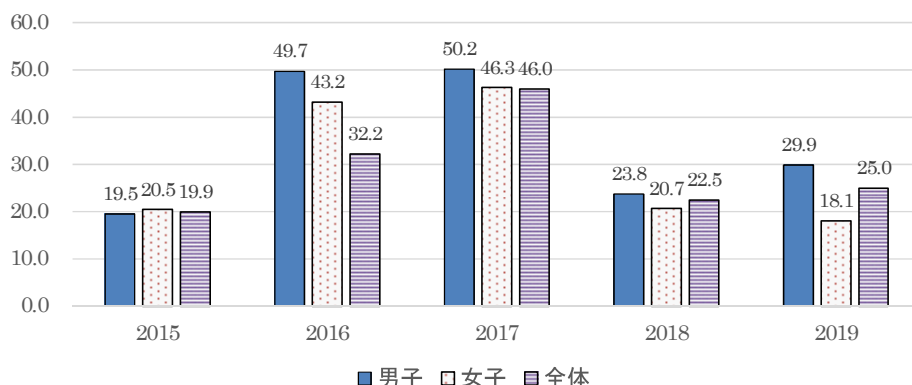


図5 自覚症状有所見率

⑥心電図検査

2018年度と2019年度の心電図検査結果を表18に示した。

一次検査における有所見率は、新しい心電計の自動判定と保健管理センター専任医師の判定を組み合わせることで、2018年度は2.5%、2019年度は2.0%であった(前回：32.8%<2016>、24.9%<2017>)。さらに、附属病院循環器内科非常勤医師に判定を依頼した結果、要精査となる例はなかった。

表18 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査				二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1213	1209(99.7)	39(3.2)	1170	29	10	10	10	0	0
	女	804	803(99.9)	12(1.5)	791	7	5	5	3	2	0
	計	2017	2012(99.8)	51(2.5)	1961	36	15	15	13	2	0
2019	男	1150	1148(99.8)	31(2.7)	1117	24	7	3	3	0	0
	女	813	813(100.0)	9(1.1)	804	7	2	1	1	0	0
	計	1963	1961(99.9)	40(2.0)	1921	31	9	4	4	0	0

4) 在学生健康診断

(1) 学部生健康診断概況

キャンパスごと(吉田・常盤・小串)に健康診断会場を設け、各地区で1日あたりの受診者数が平均化するよう、男女別や学部学科・学年別に受診枠を割り振って実施している。指定された日時で都合の悪い学生には、個別に相談に応じ、他地区の健康診断期間内での受診案内や大学周辺の健康診断実施可能な外部医療機関の案内を行うなどの便宜を図っている。

過去10年間の学部学生の学部別健康診断受診率を図6に、学年別健康診断受診率を図7に示した。

全体で見ると受診率は増加傾向にある。実習、就職活動で健康診断証明書を要する学生が多く、特別健康診断(スポーツ競技大会への参加前等)の受診条件として、定期健康診断受診を義務付けたことも、受診率向上につながった。

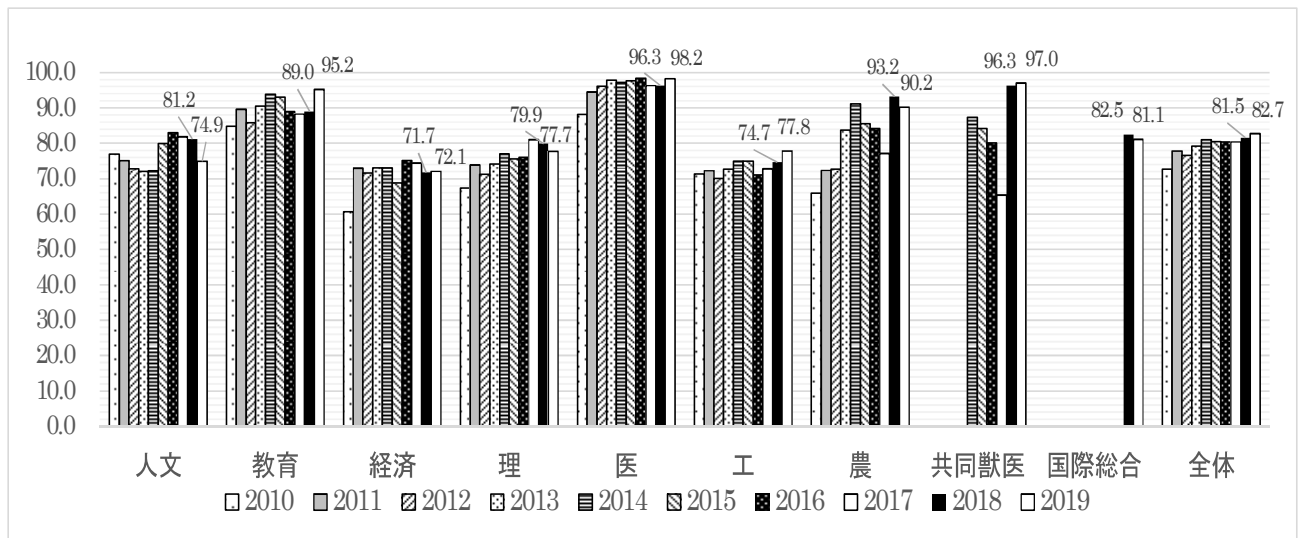


図6 学部別受診率(過去9年間)

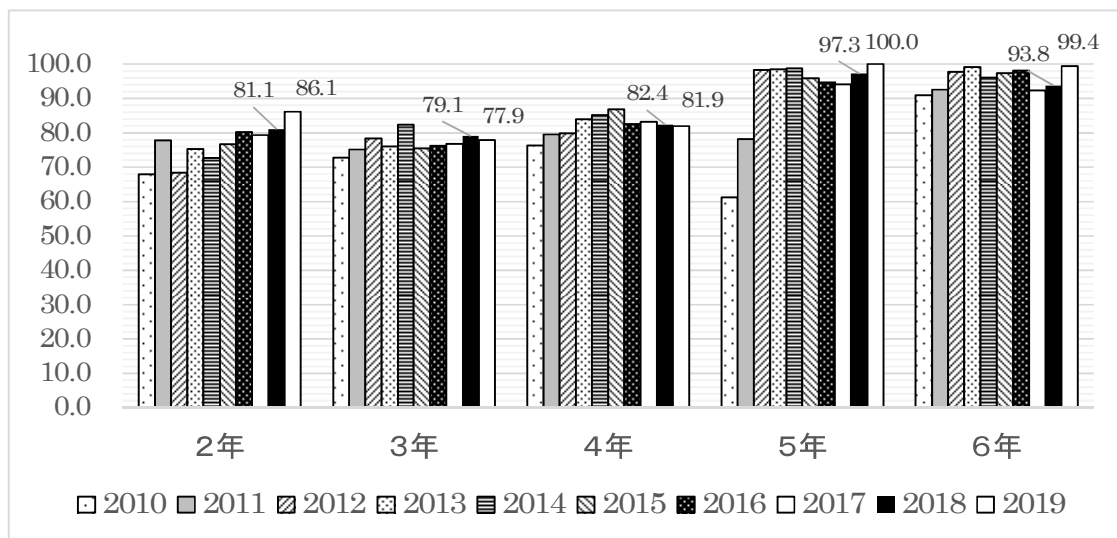


図7 学年別受診率(過去9年間)

(2) 学部生健康診断結果

①身長・体重計測

2018年度と2019年度の学部学生のBMI判定結果を表19に、最近5年間のBMI判定区分を図8、9に示した。

過去5年間、男女とも75%以上が適正な範囲内で、その割合に大きな変化はなかった。

表 19 BMI 判定結果

年度	対象者数		受検者数(%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2018	男	4122	3089(74.9)	403(13.0)	2317(75.0)	288(9.3)	66(2.1)	12(0.4)	3(0.1)
	女	2626	2291(87.2)	384(16.8)	1752(76.5)	132(5.8)	21(0.9)	1(0.04)	1(0.04)
	計	6748	5380(79.7)	787(14.6)	4069(75.6)	420(7.8)	87(1.6)	13(0.2)	4(0.1)
2019	男	4141	3171(76.6)	381(12.0)	2396(75.6)	309(9.7)	68(2.1)	17(0.5)	0
	女	2626	2268(86.4)	357(15.7)	1753(77.3)	139(6.1)	16(0.7)	2(0.1)	1(0.04)
	計	6767	5439(80.4)	738(13.6)	4149(76.3)	448(8.2)	84(1.5)	19(0.3)	1(0.04)

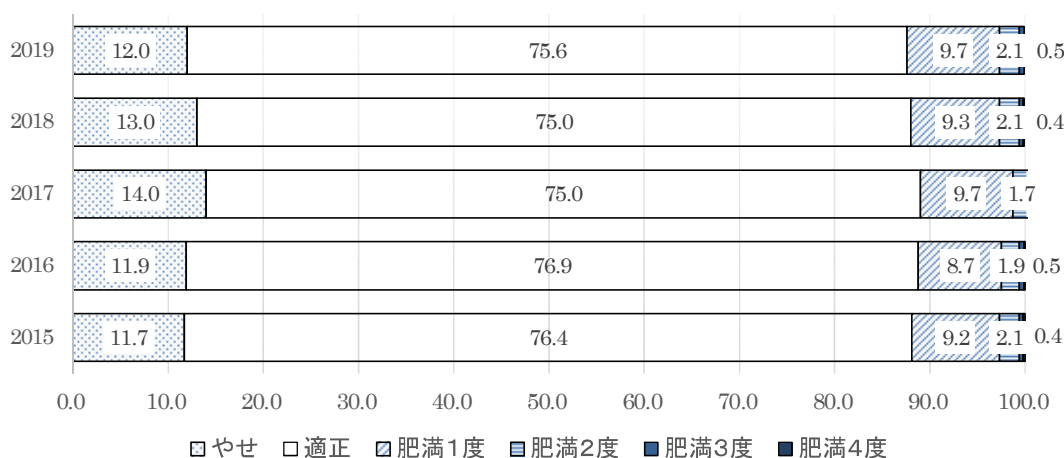


図 8 BMI 判定区分(男子)

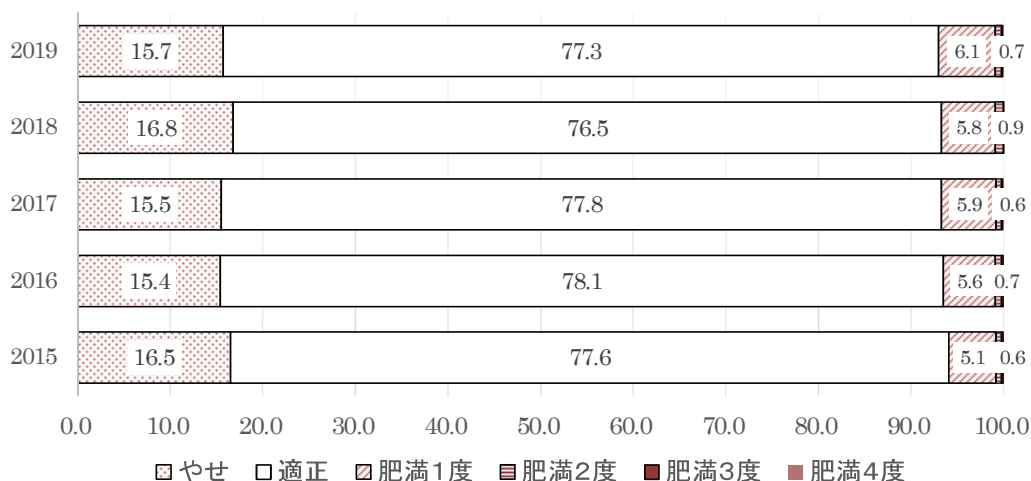


図 9 BMI 判定区分(女子)

②血圧測定

2018年度と2019年度の学部学生の血圧測定結果を表20に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図10、11に示した。

一次検査における有所見者の割合をみると、男子では2018年度7.2%、2019年度6.5%(前回:6.7%<2016・2017>)であり、女子ではともに1.9%(前回:1.9%<2016>、2.5%<2017>)であった。男子では「境界域」に該当する者が多く、有所見者も女子より多い。一方、女子の有所見者の多くは低血圧該当者である。

表 20 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	4122	3089(75.0)	35	181	2866	7	138	83	14	0	41
	女	2626	2292(87.3)	9	10	2248	25	11	5	2	1	3
	計	6748	5381(79.7)	44	191	5114	32	149	88	16	1	44
2019	男	4141	3171(76.6)	28	174	2965	4	115	78	14	0	23
	女	2626	2268(86.4)	5	14	2225	24	13	10	2	0	1
	計	6767	5439(80.4)	33	188	5190	28	128	88	16	0	24

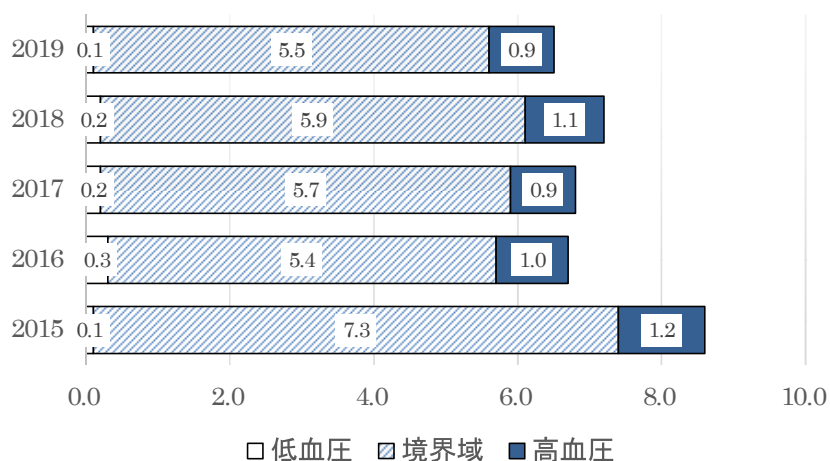


図 10 血圧有所見率(男子)

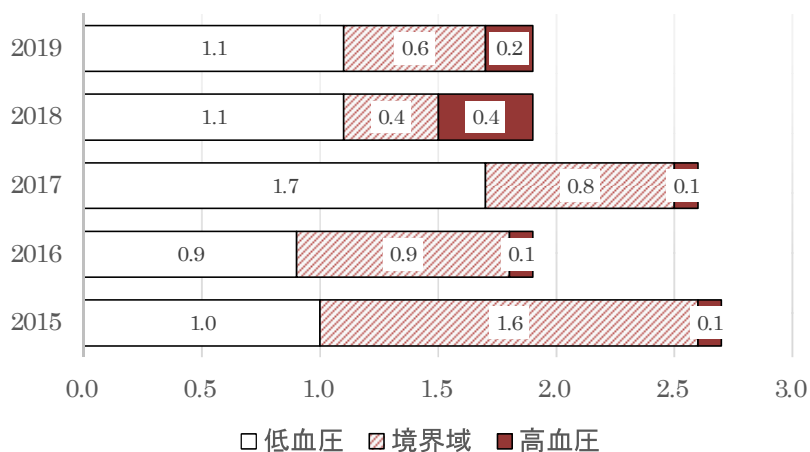


図 11 血圧有所見率(女子)

③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表21に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度9.4%、2019年度6.6%(前回:5.2%<2016>、7.1%<2017>)で、生理中や毎回随時尿で有所見者には、後日提出の早朝尿検査を勧めている。

また、二次検査の受検率は2018年度86.1%、2019年度81.2%(前回:81.0%<2016>、前回77.9%<2017>)であった。再検査お知らせの際、検査方法等を個別に詳しく説明し、また、健康診断証明書申請時に未受

診者に再検査を促している。また、再検査期間終了後は、個別に電話連絡などを行っている。

表 21 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	4122	3085	215	106	28	38	2870	58	157(6)	127	116	4	7	13
	女	2626	2237	283	104	14	87	1954	92	191(5)	163(3)	151(3)	3	9	11
	計	6748	5322	498	210	42	125	4824	150	348(11)	290(3)	267(3)	7	16	24
2019	男	4141	3171	174	67	16	98	2997	70	104(5)	71(1)	61	1	9(1)	15
	女	2626	2251	239	79	8	170	2012	80	159(4)	137(2)	133(2)	1	3	7
	計	6767	6427	413	146	24	268	6009	150	263(9)	208(3)	194(2)	2	12(1)	22

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の()内の数値は三次検査実施者数で外数

④聴力検査

2018年度と2019年度の聴力検査結果を表22に、最近5年間の一次検査有所見率を図12に示した。

一次検査の有所見率は、2018年度・2019年度ともに1.2%(前回1%程度)となっている。一方、二次検査の受検率は2018年度80.8%、2019年度83.0%(前回7~8割)である。健診当日、再検査期間を個別に説明し、健康診断証明書申請の際に、未受診者の再検査を実施している。有所見者の中には、以前から聴力異常を指摘されているなど、すでに経過観察中の学生が多い。

表 22 聴力検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分		受検者数	指導区分			
					低音域	高音域	異常なし	経過観察		病院紹介	異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	4122	3087(74.9)	33	15	29	3054	6	27	22	7	12	3
	女	2626	2285(87.0)	31	12	26	2254	6	25	20	4	11	5
	計	6748	5372(79.6)	64	27	54	5308	12	52	42	11	23	8
2019	男	4141	3168(76.5)	37	18	31	3131	10	27	22	7	10	5
	女	2626	2266(86.3)	26	14	20	2240	6	20	17	7	8	2
	計	6767	5434(80.3)	63	32	51	5371	16	47	39	14	18	7

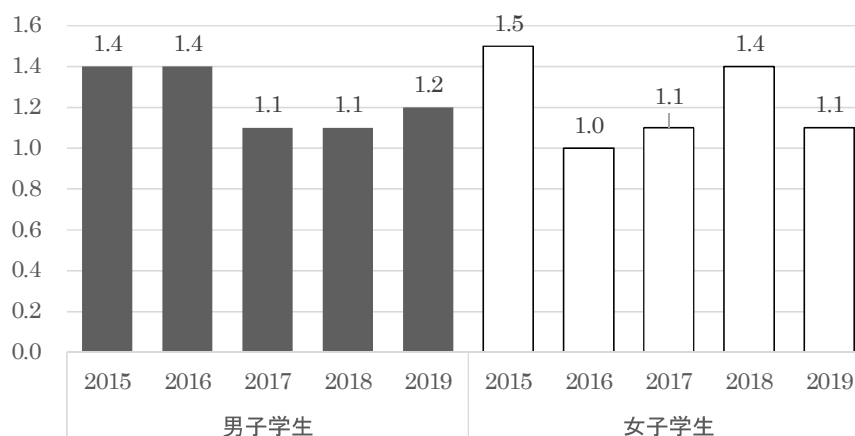


図 12 聴力一次検査有所見率(過去5年間)

⑤胸部 X 線検査

2018 年度と 2019 年度の胸部 X 線検査結果を表 23 に、最近 5 年間の肺野有所見率を図 13 に示した。一次検査の肺野有所見率は 2018 年度 1.0%、2019 年度 0.6% (前回: 0.9% <2016>、1.3% <2017>) であった。

表 23 胸部 X 線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	4122	3085(74.8)	40	32	8	3047	5	34	29	23	4	2
	女	2626	2280(86.8)	22	21	1	2258	0	22	22	22	0	0
	計	6748	5365(79.5)	62	53	9	5305	5	56	51	45	4	2
2019	男	4141	3127(75.5)	28	22	6	3119	3	5	4	4	0	0
	女	2626	2240(85.3)	20	9	11	2235	2	3	3	3	0	0
	計	6767	5367(79.3)	48	31	17	5354	5	8	7	7	0	0

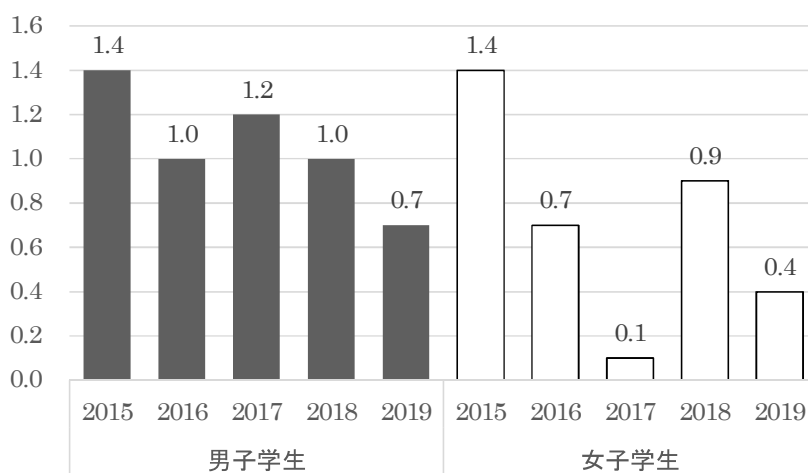


図 13 肺野有所見率(過去 5 年間)

⑥心電図検査

2018 年度と 2019 年度の学部生の心電図検査結果を表 24 に示した。

一次検査における有所見率は、2018 年度 5.2%、2019 年度 2.1% (前回: 31.5% <2016>、27.4% <2017>) であった。保健管理センター専任医師による追加判定や附属病院循環器内科非常勤医師への心電図判定依頼で、二次検査該当率は 0.3~0.5% 程度であった。

表 24 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1567	1546(98.7)	104(6.7)	1142	94	10	8	7	1	0
	女	1508	1488(98.7)	54(3.6)	1434	54	0	0	0	0	0
	計	3075	3034(98.7)	158(5.2)	2876	148	10	8	7	1	0
2019	男	1562	1549(99.2)	30(1.9)	1520	24	5	4	3	1	0
	女	1482	1465(98.9)	33(2.2)	1432	23	10	8	8	0	0
	計	3044	3014(99.0)	63(2.1)	2952	47	15	12	11	1	0

⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018年度と2019年度の間診票有所見結果を表25に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図14に示した。問診票内容から、現病歴や何らかの自覚症状のある学生の割合(有所見率)は、2018年度47.6%、2019年度51.7%(前回:29.7%<2016>、24.7%<2017>)であった。なお、保健管理センター医師の間診等により、二次検査対象者の割合は、2018年度1.3%、2019年度2.0%(前回:0.9%<2016>、0.7%<2017>)であった。病院紹介により、早期診断・治療に結びついた例も数例ではあるが認められた。

表25 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数	受検者数(%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
			有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分			
				異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介	
2018	男	4122	2442(59.2)	1123(46.0)	1857	555	30	29	7	10	12
	女	12626	1589(60.5)	795(50.0)	1158	410	21	17	1	5	11
	計	6748	4013(59.7)	1918(47.6)	3015	965	51	46	8	15	23
2019	男	4141	2504(60.5)	1201(29.0)	1920	546	38	37	5	18	14
	女	2626	1472(56.1)	856(32.6)	1012	417	43	41	4	16	21
	計	6767	3976(58.8)	2057(51.7)	2932	963	81	78	9	34	35

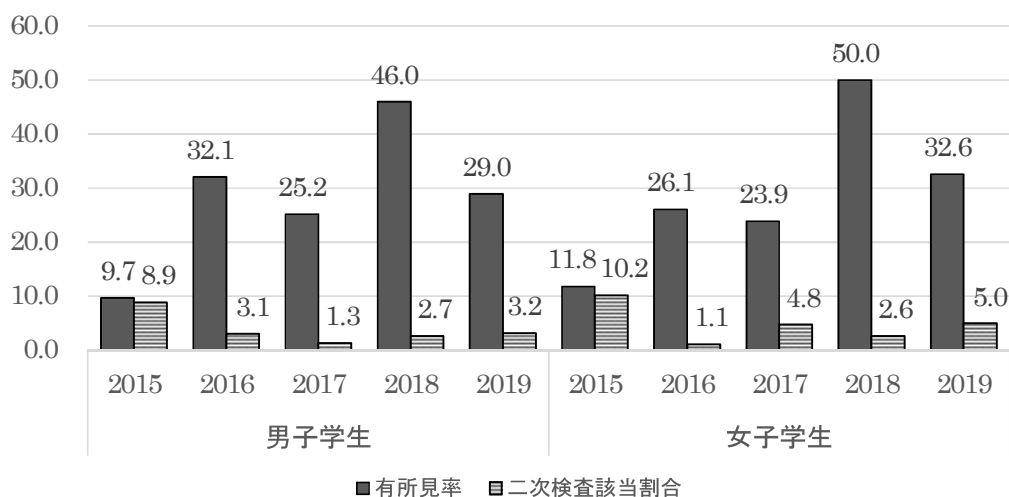


図14 問診一次検査有所見率(過去5年間)

(3) 大学院生健康診断概況

過去 10 年間の大学院生の健康診断受診率を図 15 に示した。

大学院生全体の受診率は、2010 年と比べると増加傾向にあり 7 割を超えている。ただし、依然として医学系大学院生の受診率が低い。医療機関での診療業務が学内健診受診を難しくしているのかもしれない。学外での健診結果提出をさらに徹底したいと考えている。

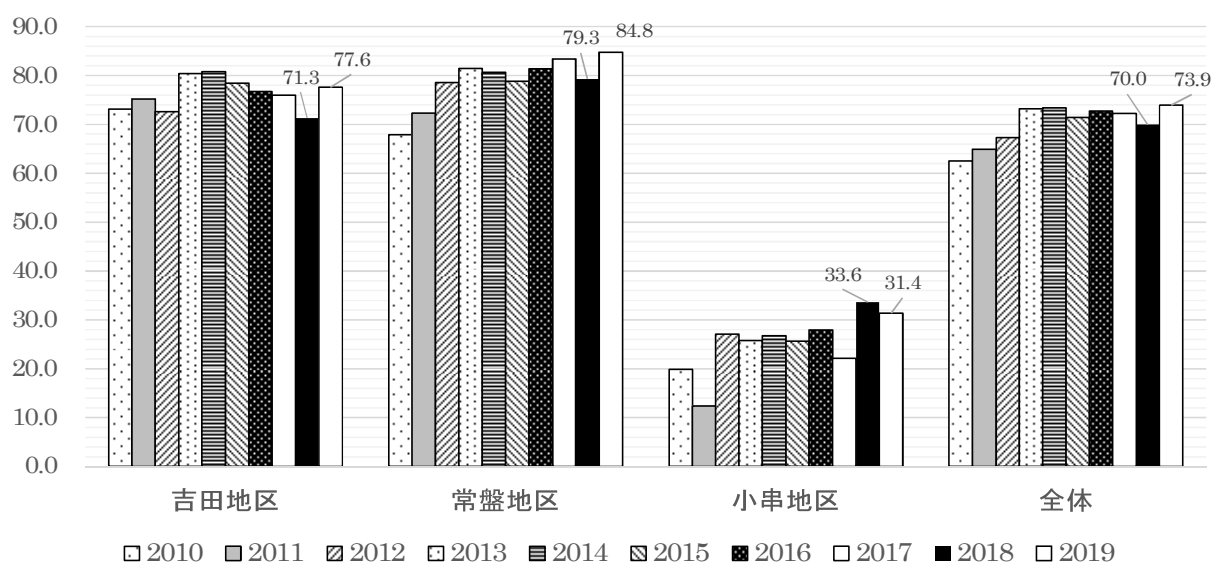


図 15 大学院生受診率 (過去 7 年間)

(4) 大学院生健康診断結果

①身長・体重計測

2018 年度と 2019 年度の大学院生の BMI 判定結果を表 26 に示した。

男女とも約 7 割は正常範囲の BMI である。肥満 1 度・肥満 2 度に該当する学生は女子より男子の方が多。一方、女子のやせ該当者は若干減少傾向となっている。

表 26 BMI 判定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2018	男	1121	778(69.4)	101(13.0)	536(68.9)	113(14.5)	22(2.8)	4(0.5)	2(0.3)
	女	363	241(63.4)	56(23.2)	161(66.8)	19(7.9)	3(1.2)	2(0.8)	0(0.0)
	計	1484	1019(68.7)	157(15.4)	697(68.4)	132(13.0)	25(2.5)	6(0.6)	2(0.2)
2019	男	1092	775(71.0)	80(10.3)	555(71.6)	104(13.4)	29(3.7)	6(0.8)	1(0.1)
	女	336	227(67.6)	40(17.6)	16(70.9)	22(9.7)	3(1.3)	1(0.4)	0(0.0)
	計	1428	1002(70.2)	120(12.0)	716(71.5)	126(12.6)	32(3.2)	7(0.7)	1(0.1)

②血圧測定

2018 年度と 2019 年度の血圧測定結果を表 27 に示した。

一次検査における有所見率は、男子が 2018 年度 7.8%、2019 年度 5.3%(前回 : 7.4%<2016>、10.2%<2017>)、女子が 2018 年度 2.5%、2019 年度 2.2%(前回 : 3.1%<2016>、3.3%<2017>)であった。男子の方が高血圧・境界域に該当する者の比率が高く、男子に肥満度 1 度・2 度該当者が多いこととの関連性が示唆される。

表 27 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	1121	778(69.4)	6	55	717	0	35	24	1	0	10
	女	363	240(66.1)	2	3	234	1	4	3	1	0	0
	計	1484	1018(71.8)	7	58	951	1	39	27	2	0	10
2019	男	1092	775(71.0)	4	35	734	2	21	19	0	0	2
	女	336	227(67.6)	1	4	222	0	1	1	0	0	0
	計	1428	1002(70.2)	5	39	956	2	22	20	0	0	2

③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表28に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度9.5%、2019年度8.7%(前回:2.1%<2016>、7.3%<2017>)、二次検査の受検率は2018年度90.3%、2019年度95.1%(前回:71.4%<2016>、86.5%<2017>)であり、受検率の向上が認められた。

表 28 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院 紹介 件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	1121	779	63	29	6	31	716	18	45(2)	39	35	2	2	4
	女	363	238	34	10	2	24	203	16	19	17	17	0	0	1
	計	1484	1017	97	39	8	55	919	34	64(2)	56	52	2	2	5
2019	男	1092	774	65	16	9	43	709	35	30(3)	24	21	2	1	4
	女	336	221	22	4	2	18	199	8	14	15	14	1	0	0
	計	1428	995	87	20	11	61	908	43	44(3)	39	35	3	1	4

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の()内の数値は三次検査実施者数で外数

④聴力検査

2018年度と2019年度の聴力検査結果を表29に示した。

一次検査の有所見率は、2018年度2.6%、2019年度2.6%(前回:2.6%<2016>、1.7%<2017>)であった。また二次検査の受検率は、2018年度75.0%、2019年度95.2%(前回:71.4%<2016>、86.7%<2017>)と上昇傾向にある。再検査期間を個別に説明し、健康診断証明書申請の際に未受診者の再検査を実施していることも、二次検査受検率改善に効果を現していると思われる。

表 29 聴力検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					低音域	高音域	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1121	778(69.4)	22	9	19	756	6	16	13	3	8	2
	女	363	241(66.4)	5	3	5	236	1	4	2	1	1	0
	計	1484	1019(68.7)	27	12	24	992	7	20	15	4	9	2
2019	男	1092	774(70.9)	18	7	16	756	5	13	13	6	6	1
	女	336	227(67.6)	8	5	5	219	0	8	7	6	0	1
	計	1428	1001(70.1)	26	12	21	975	5	21	20	12	6	2

⑤胸部 X 線検査

2018 年度と 2019 年度の胸部 X 線検査結果を表 30 に示した。

一次検査の肺野有所見率は、2018 年度 1.6%、2019 年度 0.9% (前回：1.3%<2016・2017>) であった。一方、二次検査の結果、要精査となった者は過去 2 年間で 1 名だけであった。

表 30 胸部 X 線検査結果

年度	対象者数	受検者数 (%)	一次検査							二次検査(病院紹介結果)			
			有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分			
				肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査	
2018	男	1121	779(69.5)	14	12	2	765	3	11	10	10	0	0
	女	363	239(65.8)	5	4	1	234	0	5	5	4	1	0
	計	1484	1018(68.6)	19	16	3	999	3	16	15	14	1	0
2019	男	1092	763(69.9)	7	7	0	761	1	1	0	0	0	0
	女	336	220(65.5)	2	2	0	218	1	1	1	0	0	1
	計	1428	983(68.8)	9	9	0	979	2	2	1	0	0	1

⑥心電図検査

2018 年度と 2019 年度の大学院生の心電図検査結果を表 31 に示した。

一次検査における有所見率は、2018 年度 3.4%、2019 年度 2.6% (前回：29.9%<2016>、31.3%<2017>) であった。保健管理センター専任医師と附属病院循環器内科非常勤医師による再判定の結果、二次検査該当率は 2018 年度 0%、2019 年度 0.3% (前回：0.6%<2016>、0.8%<2017>) であった。

表 31 心電図検査結果

年度	対象者数	受検者数 (%)	一次検査					二次検査(病院紹介結果)			
			有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分			
				異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査	
2018	男	329	216(65.6)	7(3.2)	209	7	0	0	0	0	0
	女	181	132(72.9)	5(3.8)	127	5	0	0	0	0	0
	計	510	348(68.2)	12(3.4)	336	12	0	0	0	0	0
2019	男	304	214(70.4)	8(3.7)	206	7	1	1	1	0	0
	女	171	135(78.9)	1(0.7)	134	1	0	0	0	0	0
	計	475	349(73.5)	9(2.6)	340	8	1	1	1	0	0

⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018 年度と 2019 年度の間診票有所見結果を表 32 に示した。

受検者における有所見者の割合は、2018 年度 36.2%、2019 年度 35.3% (前回：25.8%<2016>、17.8%<2017>) であった。なお、保健管理センター医師の間診等により、二次検査対象者の割合は 2018 年度 1.9%、2019 年度 4.0% (前回：1.8%<2016>、0.9%<2017>) であった。その一部は病院紹介まで至っており、疾病の早期発見にもつながったものと思われた。

表 32 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数	受検者数 (%)	一次検査					二次検査(呼出結果)			
			有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分			
				異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介	
2018	男	1121	678(60.5)	228(33.6)	509	159	10	10	2	3	5
	女	363	169(46.6)	79(46.7)	115	48	6	6	0	1	5
	計	1484	847(57.1)	307(36.2)	624	207	16	16	2	4	10
2019	男	1092	693(63.5)	221(31.9)	566	123	4	4	1	1	2
	女	336	154(45.8)	78(50.6)	111	35	8	6	0	4	2
	計	1428	847(59.3)	299(35.3)	677	158	12	10	1	5	4

5) 秋季入学生等健康診断

(1) 対象と概要

2012年度より留学生センターからの依頼を受け、10月入学の留学生を対象に11月末～12月上旬に留学生健康診断を実施してきた。2012年度には、山口大学交流規則および外国人留学生規則で定められている健康診断書の提出について再検討がなされ、その結果、身分や在籍期間に関わらず、健康診断書の提出を求めないこと（入学後すみやかに健康診断を受診する方針）が決まった。また、秋季入学生（留学生を除く）についても、次年度当初の健康診断を受診することで対応してきたが、入学後できるだけ早い時期に健康診断を実施することが望まれた。

これらの流れを受け、2012年度からは、これまでの留学生健康診断を「秋季入学生健康診断」と位置づけ、秋季入学者全員（非正規生を含む）を対象として、入学直後の10月中～下旬に健康診断を実施することとなった。さらに、2017年度からは、4月の定期健康診断時に正当な理由（海外留学していた等）で受診できなかった在学学生も受診対象に加え、「秋季入学生等健康診断」として実施している。健康診断時期についても、関係部署間で協議を行った結果、来日直後の9月下旬から10月中旬に実施することとなった。これは、対象者の受講カリキュラムへの配慮によるものである。

健診日程を表33に、対象者数を表34～37に示す。

表33 秋季入学生等健康診断日程

年度	実施地区	健診日程
2018	吉田地区	9月26日(水)・28日(金)、10月12日(金)
	常盤地区	10月12日(金)
	小串地区	10月12日(金) ※常盤地区にて受診
2019	吉田地区	9月25日(水)・27日(金)、10月7日(月)
	常盤地区	10月1日(火)
	小串地区	10月1日(火) ※常盤地区にて受診

表34 2018年度 秋季入学生健康診断対象者数

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	0	9	9
教育学部	0	11(3)	11(3)
経済学部	0	15	15
理学部	0	3	3
医学部	0	0	0
工学部	0	10(1)	10(1)
農学部	0	0	0
共同獣医学部	0	1	1
国際総合科学部	0	63	63
大学院人文科学研究科(修士課程)	0	3	3
大学院教育学研究科(修士課程)	0	1	1
大学院経済学研究科(修士課程)	21(1)	1	22(1)
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	4	0	4
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)
大学院創成科学研究科(博士前期)	13(2)	0	19(2)
大学院創成科学研究科(博士後期)	13(6)	6	19(6)
大学院技術経営研究科	7	0	7
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2	0	2
大学院連合農学研究科	0	0	0
合計	63(10)	123(4)	186(14)

()内は日本人学生数で内数 対象者186名のうち、留学生が172名、留学生以外が14名であった。

表 35 2018 年度 長期留学等正当な理由による健康診断対象者数（在学生）

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	5	0	5
教育学部	2	0	2
経済学部	2	0	2
国際総合科学部	103	0	103
合計	112	0	112

表 36 2019 年度 秋季入学生健康診断対象者数

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	0	19	19
教育学部	0	18(1)	18(1)
経済学部	0	12	12
理学部	0	1	1
医学部	0	0	0
工学部	0	7	7
農学部	0	1	1
共同獣医学部	0	2	2
国際総合科学部	0	71	71
大学院人文科学研究科(修士課程)	0	8	8
大学院教育学研究科(修士課程)	0	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	23(1)	1	24(1)
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	3	0	3
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)
大学院創成科学研究科(博士前期)	15	11	26
大学院創成科学研究科(博士後期)	15(6)	0	15(6)
大学院技術経営研究科	2	0	2
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2(2)	0	2(2)
大学院連合農学研究科	1	0	1
合計	64(10)	151(1)	215(11)

()内は日本人学生数で内数 対象者 215 名のうち、留学生在が 204 名、留学生以外が 11 名であった。

表 37 2019 年度 長期留学等正当な理由による健康診断対象者数（在学生）

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	1	0	1
国際総合科学部	91	0	91
合計	92	0	92

対象学生には、関係部署の協力を得て受診案内文書を個別に配布することにより、受診勧奨を行っている。特に、留学生においては、奨学金申請に必要な健康診断証明書の発行には健康診断受診が必須であること、外部医療機関での健康診断受診は経済的負担が大きいこと、結核高蔓延国からの留学生も含まれていること等もあり、指導教員からの受診勧奨も併せてお願いしている。

なお、本学で実施する健康診断の全ての項目を満たす、入学年度の4月1日以降の健康状態を証明する文書（健康診断結果の写しでも可）を提出する場合でも、秋季入学生等健康診断受診に代えることができる。健康診断の検査項目は、春季健康診断項目と同様で「問診票記入」、「尿検査」、「血圧測定」、「視力検査」、「聴力検査」、「身長・体重計測」、「胸部X線検査」、「心電図検査」、「内科診察」である。

(2) 受診状況

秋季入学者の受診率*は、2018年度 95.1%、2019年度 99.0%であった。また、長期留学等正当な理由で本健診対象となった在学生の受診率*は、2018年度 91.1%、2019年度 97.8%であった。(※受診率には、後日健康診断結果を提出した場合も含む。)

以下に、秋季入学生等健康診断の受診状況を示す(表 38～41)。

表 38 2018年度 秋季入学生健康診断受診状況

学部	対象者内訳			受診状況内訳		
	入学者数	受診対象外*	(入学者数)- (受診対象外)	受診者	結果提出	未受診
人文学部	9	0	9	9	0	0
教育学部	11(3)	0	11(3)	8	3(3)	0
経済学部	15	0	15	15	0	0
理学部	3	0	3	3	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0
工学部	10(1)	1(1)	9	8	0	1
農学部	0	0	0	0	0	0
共同獣医学部	1	0	1	1	0	0
国際総合科学部	63	2	61	61	0	0
大学院人文科学研究科(修士課程)	3	0	3	3	0	0
大学院教育学研究科(修士課程)	1	0	1	1	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	22(1)	3	19(1)	18	(1)	0
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	4	1	3	3	0	0
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	1(1)	2	0	0	1
大学院創成科学研究科(博士前期)	19(2)	6(1)	13(1)	12	0	1(1)
大学院創成科学研究科(博士後期)	13(6)	5(1)	8(5)	2	1(1)	5(4)
大学院技術経営研究科	7	2	5	5	0	0
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2	2	0	0	0	0
大学院連合農学研究科	0	0	0	0	0	0
合計	186(14)	23(4)	163(10)	150	5(5)	8(5)

※表中の()は留学生以外の人数で内数

受診対象外者*:4月に在籍、連合獣医学研究科で本学以外の配属の場合

表 39 2018年度 長期留学等正当な理由による健診対象者(在学生)の受診状況

学部	対象者数	受診者	結果提出	未受診
人文学部	5	3	0	2
教育学部	2	0	0	2
経済学部	2	2	0	0
国際総合科学部	103	97	0	6
合計	112	102	0	10

表 40 2019 年度 秋季入学生健康診断受診状況

学部	対象者内訳			受診状況内訳		
	入学者数	受診対象外*	(入学者数)- (受診対象外)	受診者	結果提出	未受診
人文学部	19	0	19	19	0	0
教育学部	18(1)	0	18(1)	17	1(1)	0
経済学部	12	0	12	12	0	0
理学部	1	0	1	1	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0
工学部	7	0	7	7	0	0
農学部	1	0	1	1	0	0
共同獣医学部	2	0	2	2	0	0
国際総合科学部	71	0	71	71	0	0
大学院人文科学研究科(修士課程)	8	0	8	8	0	0
大学院教育学研究科(修士課程)	0	0	0	0	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	24(1)	2	22(1)	21	1(1)	0
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	3	0	3	3	0	0
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)	2(1)	1	0
大学院創成科学研究科(博士前期)	26	8	18	15	3	0
大学院創成科学研究科(博士後期)	15(6)	5(3)	10(3)	6	2(2)	2(1)
大学院技術経営研究科	2	1	1	1	0	0
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2(2)	0	2(2)	0	2(2)	0
大学院連合農学研究科	1	1	0	0	0	0
合計	215(11)	17(3)	198(8)	186(1)	10(6)	2(1)

※表中の()は留学生以外の人数で内数

受診対象外者*:4月に在籍、連合獣医学研究科で本学以外の配属の場合

表 41 2019 年度 長期留学等正当な理由による健診対象者(在学生)の受診状況

学部	対象者数	受診者	結果提出	未受診
人文学部	1	1	0	0
国際総合科学部	91	87	2	2
合計	92	88	2	2

2. 特別健康診断

保健管理センターでは、定期健康診断以外に必要なに応じて臨時に健康診断を実施している。以下に、特別健康診断の概要と受診状況について示す。

1) スポーツ関係者健康診断

(1) 対象と概要

保健管理センターでは、スポーツ実習や課外活動行事へ参加するために必要な健康診断を実施している。申し込み窓口は、授業の一環として実習・合宿等に参加の場合は学部学務係、課外活動行事(対外試合参加、合宿参加など)の場合は学生支援課であり、そこからの依頼を受けて健康診断を実施している。ただし、安全面への考慮から、「当該年度の定期健康診断を受診していること」が本健診の受診条件である(未受診の場合は原則として受診を認めない)。

検査項目は、①問診票記入(スポーツ行事用)、②尿検査、③血圧検査、④心電図検査、⑤内科診察の5項目を基本項目としており、受検理由によって、検査項目を一部省略することもある。検査終了後、内科診察時にスポーツ関連行事に参加して差し支えない健康状態であるか否かを判定している。検査結果によっては、専門医療機関を紹介し、診断書の提出を求める場合もある。

本健診における健康診断書は、健康診断終了後できるだけ速やかに、保健管理センター所定様式または提出先指定様式にて作成し、それぞれの窓口へ送付している。

この健康診断のうち、「学長杯駅伝大会参加者健康診断」は対象者が多いため、簡易問診票を用いた一次スクリーニング(一次健康診断)を実施している。これは、問診票の記載内容および当該年度の健康診断結果に基づき、保健管理センター医師が二次健康診断の省略の可否を判定するものである。二次健康診断の対象となった者には、上記①~⑤のうち必要な検査項目を実施しており、未受診の場合は駅伝大会への参加を認めないこととしている。

(2) 受診状況

2018年度及び2019年度のスポーツ関係者の健康診断実施結果を表42、43に示した。

スポーツ関係者健康診断は、「異常なし」、「要注意」、「中止」で判定する。「要注意」とは、健康診断時の検査結果はわずかに異常を認めるものの、参加を禁ずるほどではなく、当日の体調や大会時の天候に応じて負担を軽減する必要のある者を意味している。

2018年度及び2019年度の受診者数の総計はそれぞれ179名と157名であった。

表 42 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2018年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/13,17,18,27	空手道部	9	2	-	-	2	5	4	0	第 43 回中四国学生空手道選手権大会参加 第 56 回西日本大学空手道選手権大会
6/6, 13	教育学部	15	1	-	-	-	14	1	0	水泳実習参加
7/17, 18	教育学部	27	2	-	-	2	26	1	0	キャンプ実習参加
7/17, 18, 20	サイクリング部	28	-	-	-	6	28	0	0	夏合宿参加
8/28, 9/3	空手道部	11	3	-	-	2	7	4	0	第 56 回中四国大学空手道選手権大会参加
10/15, 16, 17	教育学部	20	-	-	-	5	20	0	0	ロードレース実習参加
10/30, 11/5, 8, 9, 12	学長杯駅伝参加者*注1	34	2	-	-	1	32	2	0	第 65 回学長杯争奪駅伝大会参加
11/7, 9	空手道部	11	2	-	-	2	7	4	0	第 62 回全日本大学空手道選手権大会参加
2/6,7,9, 3/6,20	サイクリング部	24	1	1	1	8	23	1	0	春合宿参加

*注1：学長杯駅伝参加希望者 60 人に問診票判定を実施し、34 人が健康診断対象者として抽出された。

表 43 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2019年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/16,17,22,23	空手道部	7	2	-	-	1	5	2	0	第 44 回中四国学生空手道選手権大会参加
4/16,17,22,23 5/13	空手道部	7	2	-	-	1	5	2	0	第 57 回西日本大学空手道選手権大会参加
8/5, 6	教育学部	27	4	-	-	-	23	4	0	キャンプ実習参加
7/30, 31 8/5,6,10,21,22	サイクリング部	32	4	-	-	5	28	4	0	夏合宿参加
9/2, 4	空手道部	10	3	-	-	-	7	3	0	第 57 回中四国大学空手道選手権大会参加 第 63 回全日本大学空手道選手権大会参加
10/21, 29	教育学部	19	4	-	-	-	15	3	1	ロードレース実習参加
11/1,5,6,13,14	学長杯駅伝参加者*注2	44	5	-	-	-	39	3	2	第 66 回学長杯争奪駅伝大会参加
2/12, 17	サイクリング部	11	3	-	-	-	8	3	0	春合宿参加

*注2：学長杯駅伝参加希望者 67 人に問診用判定を実施し、44 人が健康診断対象者として抽出された。

2) 獣医師免許取得のための健康診断

(1) 対象と概要

対象は共同獣医学部獣医学科 6 年生(約 30 名)である。対象者の条件として、学生定期健康診断を全項目受診していることと、その年度に卒業見込みであることの 2 つを満たしていなければならない。

12 月下旬頃に共同獣医学部学務係より依頼を受け、例年 1～2 月に健康診断を実施している。検査内容は、心理検査(2014 年度までは MMPI、2015 年度からは SDS)と、その結果に基づいた医師による個別の面接である。

(2) 受診状況

2018 年度及び 2019 年度の健康診断実施日と受診者数は以下の通りである。

表 44 獣医師免許取得に伴う健康診断概要

年度	健康診断実施日	受診者数
2018	1 月 25 日, 2 月 1 日	28 名
2019	1 月 23 日	33 名

3) 肺結核接触者健康診断

(1) 対象と概要

定期健康診断や保健所からの報告で「肺結核」の学生や職員が発生した場合は、保健所の指示に従って必要な対応を行っている。

(2) 受診状況

2018 年度職員定期健康診断後の精密検査にて職員 1 名、2019 年度秋季入学生健康診断後の精密検査にて学生(留学生) 1 名が結核と診断されたが、ともに排菌を認めなかったため、接触者健康診断の実施はなかった。

4) 帰国後健康状況チェック

(1) 対象と概要

山口大学では、1か月(原則28日)間以上海外に滞在した学生を対象に、帰国後1か月間の健康チェックを実施している。

帰国時～帰国後最低2週間は、体調不良の有無を「健康状況チェックリスト」を参考に、各自で健康状態のチェックを行い、該当する症状がある場合には速やかに医療機関への相談・受診を促すものである。なお、帰国後1か月を目処に、「帰国後1か月間の健康状況報告書」を保健管理センターに提出をお願いしている。

(2) 受診状況

2018年度の健康状況報告書の提出者数は136名、2019年度では220名であった。そのうち、「該当症状あり」のものは、8名、10名であった。学部別・渡航先別・渡航目的別での提出状況は以下の通りである。

表 45 2018年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(学部別)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	チェックリスト 該当の有無	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	
学部 研究科	人文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0
	教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	1	0	10	1	
	理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	4	1	
	工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
	農	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	7	1	0	0	1	0	0	0	0	11	1	
	共同獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国際総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	91	5	
	大学院	人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東アジア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理工学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学系		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
創成科学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
技術経営		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
連合獣医		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
連合農学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	94	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8			

★該当症状ありの者については、個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 46 2018 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数 (渡航先別)

月 渡航先 チェックリスト 該当の有無	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	合計
アジア	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	58	2	7	1	12	1	0	0	1	0	2	0	84	4	
・中国	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	
・韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
・台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1	
・タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	10	0	0	0	0	1	0	0	17	0	
・ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
・フィリピン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2	
・インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1		
・シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・マレーシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0		
・スリランカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25	2	
・フランス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	
・イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
・ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
・スイス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	
・ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
・リトアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
・ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
北アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	10	2	
・アメリカ合衆国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	10	1	
・カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
南アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
・ボツワナ共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8	0	
・オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	
・ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
合計	1	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	98	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8		

※2名フィリピン台湾への渡航者あり(フィリピン渡航者として集計)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 47 2018 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数 (渡航目的別)

月 渡航目的 チェックリスト 該当の有無	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	合計
留学	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	90	3	6	2	10	1	1	0	6	1	2	0	119	7	
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	1	
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
合計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	94	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8		

※その他(インターンシップ、ワーキングホリデー)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 48 2019 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（学部別）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学部 研究科	チェックリスト 該当の有無	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	
	該当 なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	
学部	人文	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	教育	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	経済	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	4	
	理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	医	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	9	
	工	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
	農	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	6	0	10	
	共同獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国際総合	0	0	0	0	0	0	8	76	2	85	7	1	0	176
	大学院	人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
創成科学	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	5	
技術経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
連合獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
連合農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1	0	0	1	2	1	9	83	2	87	7	11	1	210	
	1	0	1	2	1	9	85	94	12	11	3	1	220		

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 49 2019 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航先別）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計				
渡航先	チェックリスト 該当の有無	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり	該当 あり				
	該当 なし	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
アジア	0	0	0	2	1	6	57	2	86	7	8	1	6	3	0	0	0	169
・中国	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	0	0	0	8
・韓国	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
・台湾	0	0	0	0	0	0	3	23	1	0	0	0	1	0	0	0	0	27
・タイ	0	0	0	0	0	0	1	12	1	1	0	0	6	0	0	0	0	20
・ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・フィリピン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	7	1	0	0	0	0	0	93
・インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
・シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・マレーシア	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
・スリランカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
・ウガンダ共和国	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	2	18	0	0	0	0	1	0	0	0	0	21
・フランス	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
・イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・ドイツ	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
・スイス	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
・スペイン	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
・ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
・リトアニア	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
・ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北アメリカ	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	3	0	4	0	0	0	0	13
・アメリカ合衆国	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	3	0	4	0	0	0	0	13
・カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6
・オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6
・ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	2	1	9	83	2	87	7	11	1	11	3	1	0	210
	1	0	1	2	1	9	85	94	12	11	3	1	220					

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 50 2019 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航目的別）

月 渡航目的	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	該当 症状 なし	あり	合計
留学	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	8	0	82	2	1	0	2	0	11	0	3	0	1	0	113	2	
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	95	8
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	9	0	83	2	87	7	11	1	11	0	3	0	1	0	210	10	
	1		0		1		2		1		9		85		94		12		11		3		1		220		

※その他(ポランディア)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

一般定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第26条に基づいて年1回の実施している。また、労働安全衛生規則第13条あるいは労働安全衛生法施行令第22条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6ヵ月(半年)ごとに健康診断を実施している。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属小・中学校、幼稚園、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく4地区に分けて実施している。

本学で実施している基本健診の検査項目と各項目の対象者を表1に示した。○印は全員が行う項目(必須項目)、△印は必須項目ではないが検査を希望する者あるいは医師が必要と認めた者に行う項目を表す。

職員の定期健康診断は、安全衛生対策室が実施主体であるが、基本健診の実実施計画立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。大まかな役割分担としては、実施通知や受診対象者の把握、健康診断問診票の事前配付及び結果報告書配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的な作業(検査物品の調達・準備や健診会場の設営、健康診断結果の整理・判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。2018年度から光地区の実施方法が健診委託業者による学内実施に変更された。2019年度には外部委託医療機関で実施していた雇用時健診を健診委託業者による学内実施に変更することで、受診者の利便性の向上・雇用時健診費用の削減が図られた。

表1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34才以下	35才	36～39才	40才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	○	○	○	○	体脂肪率
	血圧検査	○	○	○	○	
	尿検査	○	○	○	○	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	○	○	○	○	間接撮影 ※2019年～デジタル撮影
	聴力検査	○	○	○	○	
	視力検査	○	○	○	○	
	腹囲計測	—	○	—	○	BMI20未満の人は省略可
	心電図検査	—	○	—	○	
	血液検査	△	○	△	○	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、γ-GT) 脂質(LDL・HDLコレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ、 総コレステロール、血小板、クレアチニン)
内科診察	○	○	○	○	自覚症状・他覚症状、既往歴、 業務歴等問診票に基づく問診	
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(間接)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	
※ 前立腺がん検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	
※ 胃がんリスク検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	

2018年度及び2019年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表2の通りであった。

表2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期		実施場所
2018年度	吉田	基本健診: 7/25(水)~8/3(金) * 受付: 9:00~11:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		保健管理センター
		附属学校 ・幼・小・中学校 ・特別支援学校	基本健診: 吉田と同期間内 * 受付: 9:00~11:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、 胃がんリスク検診	
	小串	基本健診: 9/10(月)~20(木) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/14・18は胸部X線検診車2台体制 ※9/13・19は検診車の確保不可(代替日として9/25・27) ※9/20は午前中(9:30~12:30)のみ
	常盤	基本健診: 8/22(水)~8/24(金) * 受付: 9:00~12:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
	光	基本健診・雇用時健診: 4/6(金) * 受付: 8:30~11:00 ※ 大腸がん検診、肺がん検診		附属光中学校保健室 ※健診委託業者により健診実施 ※結果判定・通知作業は保健管理センター
2019年度	吉田	雇用時健診: 4/3(木)		大学会館、事務局 1階(リフレッシュルーム) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		附属学校 ・幼・小・中学校 ・特別支援学校	基本健診: 7/24(水)~8/2(金) * 受付: 9:00~11:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	
	基本健診: 吉田と同期間内 * 受付: 9:00~11:30 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、 胃がんリスク検診			
	小串	雇用時健診: 4/8(月)~4/9(火) ※ 常盤地区雇用者含む		医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※健診委託業者により健診実施 ※個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター
		基本健診: 9/10(火)~20(金) * 受付: 9:30~12:30、14:00~16:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※9/17・19・20は胸部X線検診車2台体制 ※9/20は午前中(9:30~12:30)のみ
	常盤	基本健診: 8/21(水)~8/23(金) * 受付: 9:00~12:00 ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
光	基本健診・雇用時健診: 4/5(金) ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診		附属光中学校保健室 ※健診委託業者により健診実施 ※結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター	

2) 受診状況

(1) 職員健康診断概況

2018年度及び2019年度の職員健康診断受診状況を表3、4に示した。受診者は、保健管理センターで受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である。

職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことで、健康診断受診の意識は高まり、2017年度ついに100%を達成したが、2018年度、2019年度は100%には至らなかった。

また、健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、要精査以上の判定区分であった者に対し、二次検査結果の報告を求めることとしている。2015年度から二次健康診断等給付についても積極的にアナウンスし、二次精査受診を促している。二次検査結果報告の義務は定めておらず、就業上の配慮について検討するため、要医療及び要治療判定区分であった者にはより強く、要精査判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。2017年度より二次精査受診を促進するために受診においては、職務専念義務免除を適応している。今後は、さらなる受診率の維持、向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表3 職員健康診断受診状況（2018年度）

部局	定期健診対象者数 (A)	定期健診受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	2019.4月現在		2018.4月現在	
			保健管理 センター受診	他受診		未受診者数 (A-B)	昨年度の状況 (最終値)		
人文学部	57	57	43	14	100.0%	0	0		
教育学部	109	109	75	34	100.0%	0	0		
附属学校	159	159	132	27	100.0%	0	0		
経済学部 *1	89	89	64	25	100.0%	0	0		
理学部	82	82	65	17	100.0%	0	0		
医学部	493	493	427	66	100.0%	0	0		
附属病院	1,407	1,407	1,165	242	100.0%	0	0		
工学部 *2	301	300	216	84	99.7%	1	0		
農学部	60	60	47	13	100.0%	0	0		
共同獣医学部 *3	86	86	65	21	100.0%	0	0		
国際総合科学部	38	38	27	11	100.0%	0	0		
事務局等 *4	吉田	281	281	219	62	100.0%	0	0	
	小串	20	20	19	1	100.0%	0	0	
	常盤	24	24	24	0	100.0%	0	0	
その他 *5	吉田	53	53	40	13	100.0%	0	0	
	小串	34	34	32	2	100.0%	0	0	
	常盤	37	37	29	8	100.0%	0	0	
計	3,330	3,329	2,689	640	99.97%	1	0		

* 長期出張中・病気休暇中・育児休業中等の理由があつて受診できない者は、定期健診対象者から除く。

* 定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関受診者等。

*1 東アジア研究科を含む。 *2 技術経営研究科を含む。 *3 連合獣医学研究科を含む。

*4 内部監査室・監事支援室を含む。 *5 各機構やセンター等の他の区分に含まれないもの。

表4 職員健康診断受診状況(2019年度)

2020年3月31日現在

部局	定期健診対象者数 (A)	定期健診受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	未受診者数 (A-B)	備考	
			保健管理 センター受診	他受診				
人文学部	54	53	38	15	98.1%	1		
教育学部	110	110	76	34	100.0%	0		
教育学部 附属山口小学校	28	28	18	10	100.0%	0		
教育学部 附属山口中学校	29	29	23	6	100.0%	0		
教育学部 附属特別支援学校	34	34	24	10	100.0%	0		
教育学部 附属幼稚園	12	12	11	1	100.0%	0		
教育学部 附属光小学校	34	34	0	34	100.0%	0		
教育学部 附属光中学校	23	23	0	23	100.0%	0		
経済学部	90	88	65	23	97.8%	2		
東アジア研究科	4	4	3	1	100.0%	0		
理学部	80	80	63	17	100.0%	0		
医学部	505	505	444	61	100.0%	0		
附属病院	1,444	1,444	1,187	257	100.0%	0		
工学部	289	289	209	80	100.0%	0		
技術経営研究科	13	13	8	5	100.0%	0		
農学部	58	58	43	15	100.0%	0		
共同獣医学部	85	85	67	18	100.0%	0		
国際総合科学部	33	33	22	11	100.0%	0		
学長室・内部監査室 総務企画部	102	102	64	38	100.0%	0		
財務部	51	51	42	9	100.0%	0		
施設環境部	22	22	19	3	100.0%	0		
大学教育機構 学生支援部	小串	3	3	3	0	100.0%	0	
	常盤	5	5	5	0	100.0%	0	
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	36	36	29	7	100.0%	0	
	小串	41	41	37	4	100.0%	0	
	常盤	41	41	34	7	100.0%	0	
大学情報機構 情報環境部	吉田	40	40	37	3	100.0%	0	
	小串	7	7	7	0	100.0%	0	
	常盤	10	10	10	0	100.0%	0	
計	3,365	3,362	2,646	716	99.9%	3		

定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数を示しています。長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があって受診できない者は、定期健診対象者から除いています。

(2) 体格 (BMI)

2018年度及び2019のBMI値による判定結果を表5、6に示した。

事業場別にみても、2018年度及び2019年度ともに正常範囲であった者は、附属学校は男性約5割、女性は約8割となっており、他の事業場は約6~7割程度みられている。男女別に見ると、2018年度も2019年度も男性の方が肥満の割合が高く、女性は肥満の割合が低い傾向がある。

表5 BMI(体格)判定結果(事業場別)

2018年度

年度	受検者数		判定結果区分(%)					
			やせ	正常	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
吉田	男	402	22(25.5)	272(67.7)	92(22.9)	14(3.5)	2(0.5)	0(0.0)
	女	250	53(21.2)	166(66.4)	26(10.4)	4(1.6)	1(0.4)	0(0.0)
常盤	男	179	7(3.9)	112(62.6)	51(28.5)	6(3.4)	3(1.7)	0(0.0)
	女	98	14(14.3)	72(73.5)	11(11.2)	1(1.0)	0(0.0)	0(0.0)
小串・附属病院	男	525	21(4.0)	355(67.6)	121(23.0)	23(4.4)	3(0.6)	2(0.4)
	女	1149	224(19.5)	800(69.6)	102(8.9)	18(1.6)	4(0.3)	1(0.1)
附属学校	男	33	0(0.0)	17(51.5)	13(39.4)	3(9.1)	0(0.0)	0(0.0)
	女	56	3(5.4)	49(87.5)	3(5.4)	1(1.8)	0(0.0)	0(0.0)
合計	男	1139	50(4.4)	756(66.4)	277(24.3)	46(4.0)	8(0.7)	2(0.2)
	女	1553	294(18.9)	1087(70.0)	142(9.1)	24(1.5)	5(0.3)	1(0.1)
	計	2692	344(12.8)	1843(68.5)	419(15.6)	70(2.6)	13(0.5)	3(0.1)

表6 BMI(体格)判定結果(事業場別)

2019年度

年度	受検者数		判定結果区分(%)					
			やせ	正常	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
吉田	男	389	19(4.9)	267(68.6)	90(23.1)	13(3.3)	0(0.0)	0(0.0)
	女	246	53(21.5)	165(67.1)	21(8.5)	7(2.8)	0(0.0)	0(0.0)
常盤	男	173	4(2.3)	109(63.0)	50(28.9)	9(5.2)	1(0.6)	0(0.0)
	女	97	18(18.6)	68(70.1)	9(9.3)	2(2.1)	0(0.0)	0(0.0)
小串・附属病院	男	545	21(3.9)	364(66.8)	132(24.2)	23(4.2)	3(0.6)	2(0.4)
	女	1175	227(19.3)	806(68.6)	112(9.5)	24(2.0)	6(0.5)	0(0.0)
附属学校	男	34	0(0.0)	17(50.0)	15(44.1)	2(5.9)	0(0.0)	0(0.0)
	女	49	3(6.1)	39(79.6)	6(12.2)	0(0.0)	1(0.6)	0(0.0)
合計	男	1141	44(3.9)	757(66.3)	287(25.2)	47(4.1)	4(0.4)	2(0.2)
	女	1567	301(19.2)	1078(68.8)	148(9.4)	33(2.1)	7(0.6)	0(0.0)
	計	2708	345(12.7)	1835(67.8)	435(16.1)	80(3.0)	11(0.4)	2(0.1)

(3) 血圧測定

2018年度及2019年度の血圧測定結果を表7、8に示した。

男女別にみると、各年度ともに、概ね8割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男性と比較して女性の方が適正血圧の割合が多く、適正血圧を超えると、逆転して男性の比率が高くなる傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。小串・附属病院地区では健診会場が2階にあり、エレベーターが設置された為、階段を使用することによる血圧の変動に対して、エレベーター利用をアナウンスする等の配慮を行った。今年度から、一次検査結果の指導区分を労働基準監督署に報告が必要である有所見者と要管理者に分け示している。

表7 血圧判定結果(事業場別)

2018年度

年度	受検者数		所見内訳					一次検査	
			低血圧	適正血圧	高血圧 傾向	軽症 高血圧	高血圧	指導区分	
								有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	402	1	322	28	24	27	80	27
	女	39	2	23	4	6	4	16	4
常盤	男	179	0	131	20	15	13	48	13
	女	98	3	93	0	2	0	5	0
小串・附属病院	男	524	1	419	59	21	24	105	23
	女	1149	28	1035	44	28	14	114	14
附属学校	男	33	0	30	0	2	1	3	1
	女	56	0	52	1	2	1	4	1
合計	男	1138	2	902	107	62	65	236	64
	女	1552	33	1413	49	38	19	139	19
	計	2690	35	2315	156	100	84	375	83

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表8 血圧判定結果(事業場別)

2019年度

年度	受検者数		所見内訳					一次検査	
			低血圧	適正血圧	高血圧 傾向	軽症 高血圧	高血圧	指導区分	
								有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	389	1	318	29	17	24	71	24
	女	246	2	233	5	2	4	13	4
常盤	男	173	0	127	23	12	11	46	11
	女	97	1	85	8	1	2	12	2
小串・附属病院	男	543	0	415	68	22	38	128	38
	女	1175	24	1036	56	37	22	139	22
附属学校	男	34	0	30	2	1	1	4	1
	女	49	0	48	0	0	1	1	1
合計	男	1139	1	890	122	52	74	249	74
	女	1567	27	1402	69	40	29	165	29
	計	2706	28	2292	191	92	103	414	103

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(4)尿検査

2018年度及び2019年度の尿検査結果を表9、10に示した。今年度より、労働基準監督署に報告が必要である蛋白尿と尿糖についての有所見者及び要管理者を示した。2018年度の蛋白尿の有所見者の割合は2割から3割である。吉田地区の男性は4割と他地区に比べやや高くなっていた。尿糖の有所見者の割合も吉田地区の男性は約3割と他地区に比べ高くなっていた。2019年度も2018年度と概ね割合は同様であった。

表9 尿検査結果(事業場別)

2018年度

年度	受検者数		一次検査			
			蛋白尿		尿糖	
			有所見者 d2以上	要管理者 c1以上	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	401	17	2	11	8
	女	248	5	0	3	2
常盤	男	179	5	1	3	2
	女	98	2	0	0	0
小串・附属病院	男	524	14	3	10	7
	女	1149	40	12	13	7
附属学校	男	33	0	0	1	1
	女	56	1	0	0	0
合計	男	1137	36	6	25	18
	女	1551	48	12	16	9
	計	2688	84	18	41	27

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表10 尿検査結果(事業場別)

2019年度

年度	受検者数		一次検査			
			蛋白尿		尿糖	
			有所見者 d2以上	要管理者 c1以上	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	388	23	3	10	9
	女	244	4	0	1	1
常盤	男	173	7	2	5	3
	女	97	0	0	0	0
小串・附属病院	男	544	12	5	14	9
	女	1175	31	8	12	7
附属学校	男	34	0	0	1	1
	女	48	1	1	0	0
合計	男	1139	42	10	30	22
	女	1564	36	9	13	8
	計	2703	78	19	43	30

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(5) 聴力検査

2018年度及び2019年度の聴力検査結果を表11、12に示した。

すべての地区において、高音域の有所見者の割合が多くなっている。年齢とともに高音域が聞こえにくくなることが要因として挙げられると考えられる。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。現時点においても、聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。しかし、検査担当者に看護職を配置するなどして、操作手順上の精度は改善された。環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と思われる。

表11 聴力検査結果(事業場別) 2018年度

年度	受検者数		一次検査(オーディオメーターによる検査)			
			1000Hz		4000Hz	
			有所見者 d2以上	要管理者 c1以上	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	399	19	4	35	4
	女	248	8	2	6	1
常盤	男	178	5	1	15	0
	女	98	0	0	14	0
小串・附属病院	男	524	14	0	17	1
	女	1149	7	0	0	0
附属学校	男	33	3	0	2	0
	女	56	0	0	0	0
合計	男	1134	41	5	69	5
	女	1551	15	2	20	1
	計	2685	56	7	89	6

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表12 聴力検査結果(事業場別) 2019年度

年度	受検者数		一次検査(オーディオメーターによる検査)			
			1000Hz		4000Hz	
			有所見者 d2以上	要管理者 c1以上	有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	388	17	0	30	1
	女	246	2	0	5	0
常盤	男	173	3	0	9	0
	女	97	0	0	0	0
小串・附属病院	男	544	6	3	17	0
	女	1175	9	1	17	4
附属学校	男	34	3	0	2	0
	女	49	4	0	0	0
合計	男	1139	29	3	58	1
	女	1567	15	1	22	4
	計	2706	44	4	80	5

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(6) 胸部 X 線検査

2018 年度及び 2019 年度の胸部 X 線検査結果を表 13、14 に示した。

受診者の増加に伴い、有所見者も増加する傾向がみられる。精密検査の対象者で多い所見が結節影であり、浸潤影の所見が見られる。二次検査結果は直接 X 線撮影や、胸部 CT 検査にて異常なしとの結果であるが、中には腫瘍や肺炎などが判明し、治療が必要となってケースもあるため、二次精密検査は必ず受診する必要がある。胸部 X 線有所見者（要精査者以上）については、感染症等の観点からも必ず受診していただきたい。

表 13 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2018 年度

年度	受検者数		所見内訳			一次検査	
			肺野所見	肺野外 所見	結核 (疑い含)	指導区分	
						有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上
吉田	男	401	29	1	0	30	11
	女	245	11	0	0	11	7
常盤	男	178	11	1	0	12	4
	女	95	7	0	0	7	3
小串・附属病院	男	510	30	1	0	31	6
	女	1107	51	3	0	54	15
附属学校	男	32	1	0	0	1	0
	女	55	4	0	0	4	2
合計	男	1121	71	3	0	74	21
	女	1502	73	3	0	76	27
	計	2623	144	6	0	150	48

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

表 14 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2019 年度

年度	受検者数		所見内訳			一次検査	
			肺野所見	肺野外 所見	結核 (疑い含)	指導区分	
						有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上
吉田	男	388	27	4	0	29	5
	女	241	8	1	0	9	4
常盤	男	173	8	1	0	8	2
	女	97	4	0	0	4	1
小串・附属病院	男	546	16	2	0	14	1
	女	1142	31	1	0	32	4
附属学校	男	34	0	0	0	0	0
	女	49	4	0	0	4	0
合計	男	1141	51	7	0	51	8
	女	1529	47	2	0	49	9
	計	2670	98	9	0	100	17

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

(7) 血液検査

2018年度及び2019年度の血液検査結果を表15、16に示した。

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)であるが、労働基準監督署に報告が必要である、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査の有所見者および要管理者を以下に示した。有所見率として最も高いのが血中脂質検査である。次いで肝機能検査の有所見者の割合が高くなっている。貧血検査に関しての有所見者率は女性で高くなっている。

表 15 血液検査結果(事業場別)

2018年度

年度	受検者数		一次検査							
			貧血検査		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査	
			有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上
吉田	男	351	16	7	90	44	185	53	74	16
	女	230	12	5	25	8	57	16	17	1
常盤	男	171	9	2	55	22	98	71	34	6
	女	90	7	2	8	2	26	67	2	0
小串・附属病院	男	479	19	2	120	68	249	38	81	12
	女	1087	83	34	131	19	300	11	81	11
附属学校	男	26	1	0	5	2	14	6	2	1
	女	53	5	4	7	0	15	7	1	0
合計	男	1027	45	11	270	136	546	168	191	35
	女	1460	107	45	171	29	398	101	101	12
	計	2487	152	56	441	165	944	269	292	47

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 16 血液検査結果(事業場別)

2019年度

年度	受検者数		一次検査							
			貧血検査		肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査	
			有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上	有所見者 d2 以上	要管理者 c1 以上
吉田	男	344	15	6	78	43	166	55	71	12
	女	216	14	10	23	3	50	12	10	2
常盤	男	168	8	3	54	30	101	32	30	7
	女	91	7	5	13	4	28	15	7	0
小串・附属病院	男	500	16	2	129	68	249	78	69	16
	女	1114	84	39	127	23	324	84	79	15
附属学校	男	26	0	0	9	5	16	5	2	1
	女	46	2	2	2	2	14	6	2	0
合計	男	1038	39	11	270	146	532	170	172	36
	女	1467	107	56	165	32	416	117	98	17
	計	2505	146	67	435	178	948	287	270	53

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(8)心電図検査

2018年度及び2019年度の心電図検査結果を表17、18に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

心電図検査は、原則として35歳及び40歳以上の者に実施しているが、39歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、2010年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しているものの、有所見者数はそれに伴って増加する傾向はみられていない。

表17 心電図検査結果(事業場別)

2018年度

年度	受検者数		所見内訳					一次検査	
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	指導区分	
								有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	297	10	2	4	12	37	48	13
	女	164	6	0	0	2	29	32	5
常盤	男	133	1	0	0	6	7	12	0
	女	62	0	0	0	0	2	2	0
小串・附属病院	男	289	4	0	0	8	20	32	5
	女	551	8	0	0	7	37	49	4
附属学校	男	23	1	0	1	0	1	3	0
	女	43	2	0	0	1	6	8	0
合計	男	742	16	2	5	26	65	95	18
	女	820	16	0	0	10	74	91	9
	計	1562	32	2	5	36	139	186	27

※ ST-T変化には、ST低下(上昇)・陰性T・平低T・高いT波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW症候群・ブルガダ症候群を含む

表18 心電図検査結果(事業場別)

2019年度

年度	受検者数		所見内訳					一次検査	
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	指導区分	
								有所見者 d2以上	要管理者 c1以上
吉田	男	287	4	2	2	12	6	29	5
	女	153	3	0	0	7	1	9	4
常盤	男	137	1	0	0	4	4	8	1
	女	73	2	0	0	0	2	2	1
小串・附属病院	男	310	3	0	0	10	22	31	4
	女	590	22	0	0	14	37	66	4
附属学校	男	23	1	0	0	1	1	3	0
	女	35	1	0	0	1	0	2	0
合計	男	757	9	2	2	27	33	71	10
	女	851	28	0	0	22	40	79	9
	計	1608	37	2	2	49	73	150	19

※ ST-T変化には、ST低下(上昇)・陰性T・平低T・高いT波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW症候群・ブルガダ症候群を含む

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第45条に基づき、年に2回、規定の業務(労働安全衛生規則第13条第1項第2号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表19のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第1回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第2回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部X線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

2018年度、2019年度における各事業場の該当者数(延べ数)は、表20～21のとおりである。

表19 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期		実施場所
	1回目	2回目	
吉田	7月下旬～8月上旬	1月下旬～2月上旬	保健管理センター
常盤	8月下旬～9月上旬	1月下旬～2月上旬	工学部保健室 (保健管理センター工学部分室)
小串 附属病院	9月中旬	3月上旬	医学部医心館 (保健管理センター医学部分室)

表20 特定業務従事者健康診断対象者

2018年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	2	14	17	0	0	0	0	0	4	11	4	7	59
常盤	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	11	1	0	14
小串	0	1	8	11	0	0	0	0	0	5	2	5	5	38
附属病院	0	5	93	2	0	0	19	5	0	807	4	4	139	1078

表21 特定業務従事者健康診断対象者

2019年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	1	28	27	0	0	0	0	0	16	10	6	9	51
常盤	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	13	5	0	16
小串	0	0	13	13	0	0	0	0	0	7	2	5	6	46
附属病院	0	6	97	1	0	0	20	3	0	840	3	4	99	1073

*労働安全衛生規則第13条第1項第2号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、紙打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを飛散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

対象者の調査に関しては、例年 5～7 月頃、健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部署の健康診断担当係が実施している。調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の健康診断担当係及び専任衛生管理者等が確認し、主に週 1 回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断時受診時に記入してもらうこともある。

また、第 2 回目の附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

なお、2019 年度第 2 回目の小串・附属病院事業場(2020 年 3 月実施分)については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽集団での健康診断実施の代わりに問診票提出による健康チェックを行い、医師が必要と判断した者のみ保健管理センターで検査を実施するという方法をとった。

3) 受診状況

2018 年度及び 2019 年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表 22～23 に示した。表中の数字は、実施した検査の有所見者数を示している(-は未実施)。前述のとおり、第 1 回の特定業務従事者健康診断実施状況は定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第 2 回目の方のみの受診状況を示す。

健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめた上で、所轄の労働基準監督署に報告している。

表 22 第 2 回特定業務従事者健康診断 受診状況

2018 年度

	受診者	実施項目の有所見者数							有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図		
吉田	58	0	3	-	11	2	0	0	44	3
常盤	14	0	0	-	1	0	0	-	1	0
小串	31	-	-	0	7	1	1	-	9	3
附属病院	1001	-	-	0	54	9	12	-	72	28

表 23 第 2 回特定業務従事者健康診断 受診状況

2019 年度

	受診者	有所見者数							有所見者数	要精査
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図		
吉田	51	0	1	-	7	1	0	0	34	3
常盤	16	-	-	0	0	1	0	-	1	0
小串	46	-	-	-	-	-	-	-	26	0
附属病院	1071	-	-	1	33	4	6	-	502	4

3. 特殊健康診断(電離放射線)

1) 対象と概要

保健管理センターでは、「国立大学法人山口大学放射線障害予防規定」に基づき、学内の放射線取扱者の登録申請（更新を含む）を行った職員及び学生を対象に健康診断を実施している（医学部附属病院で放射線を取扱う職員は、附属病院が実施し、結果は保健管理センター所長にも送付）。この健康診断を受診することは、教育訓練の受講とともに学内で放射線を取り扱うための必須条件となっている。

この健康診断は定期的に年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は2月上旬である。小串事業場や吉田事業場（一部）では、上記の健康診断実施期間外（4月、10月頃）に、臨時で健康診断を実施することもある。これは、新規・中途採用者など、定期の実施期間以前から放射線業務に従事する必要がある者に対し、期日を定めて行っている例外的措置である。

なお、外部医療機関等にてこれと同様の健康診断を受診し、その結果を証明する文書を提出することでも、この健康診断の受診に代えることができる。

健康診断の実施項目は、表24に示すとおりである。なお、法令に定める検査項目のうち、業務内容や被ばく歴、自覚症状等の調査結果、および過去の放射線健康診断の受診結果のもと、法令等に基づき医師の判断により検査項目を省略することもできる。

表24 放射線健康診断 法定検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液※	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票を各事業場の健康診断担当係が対象者へ配布し、本人による記入、管理者（指導教員・管理室長等）が記載内容を確認した後、担当係が回収を行い、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を決定している。検査実施対象者への健康診断日時等の案内については、担当係より通知される。

検査（血液・皮膚）は各地区保健管理センターにて実施し、検査結果及びそれに基づく医師の診断、および就業上の措置に関する産業医等の意見は、担当係を通じて対象者へ通知される。有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関への紹介を行うこともある。

（健康診断結果に基づく就業上の措置については、上記の各事業場産業医等による「医師の意見」等を参考に事業場の責任において「決定」され、本人に通知される。）

なお、職員に関する健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者がとりまとめ、各事業場の産業医の確認をうけた上で、安全衛生対策室を通じ所轄の労働基準監督署に報告している。

3) 受診状況

2018年度及び2019年度の放射線健康診断受診状況を表25～32に示した。

毎年度、第1回は検査対象者（省略否判定者）数が第2回に比べ多い傾向にあるが、構成員の入れ替わりにより新規登録者が多いことが主要因である。

表 25 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2018 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	5	0	5	5	2
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	3	0	3	3	0
小串	職員	4	0	4	4	0
	学生	-	-	-	-	-
合計	職員	9	0	9	9	2
	学生	3	0	3	3	0

表 26 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2018 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	75	61	14	14	5
	学生	158	96	62	62	15
常盤	職員	32	25	7	7	2
	学生	168	91	77	77	15
小串	職員	71	71	0	-	-
	学生	12	10	2	2	0
合計	職員	178	157	21	21	7
	学生	338	197	141	141	30

表 27 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2018 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	2	0	2	2	0
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	3	0	3	2(※未受診 1)	0
	学生	1	0	1	1	0
合計	職員	5	0	5	4	0
	学生	1	0	1	1	0

表 28 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2018 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	77	64	13	13	2
	学生	182	140	42	41(※未受診 1)	12
常盤	職員	32	30	2	2	2
	学生	166	150	16	15(※未受診 1)	6
小串	職員	67	66	1	1	0
	学生	13	13	0	-	-
合計	職員	176	160	16	16	4
	学生	361	303	58	56	18

表 29 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2019 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	4	0	4	4	1
	学生	2	2	0	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	3	0	3	3	2
小串	職員	12	0	12	12	3
	学生	6	0	6	6	0
合計	職員	16	0	16	16	4
	学生	11	2	9	9	2

表 30 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2019 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	79	62	17	17	3
	学生	163	96	67	66(※未受診 1)	18
常盤	職員	33	28	5	5	2
	学生	174	87	87	86(※未受診 1)	13
小串	職員	79	77	2	2	1
	学生	10	9	1	1	1
合計	職員	191	167	24	24	6
	学生	347	192	155	153	32

表 31 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2019 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	3	0	3	3	1
	学生	-	-	-	-	-
合計	職員	3	0	3	3	1
	学生	-	-	-	-	-

表 32 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2019 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	78	71	7	7	3
	学生	186	142	44	44	18
常盤	職員	33	31	2	2	1
	学生	169	155	14	14	8
小串	職員	75	72	3	3	0
	学生	9	8	1	1	1
合計	職員	186	174	12	12	4
	学生	364	305	59	59	27

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等に基づき、規定された薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的に放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)であるが、事業場によって多少異なっている。また、健康診断項目は、薬品ごとに異なるため、それぞれの規則に定められている検査項目に従っている。

大学は一般の企業とは違い、少量多種の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち有機溶剤及び特定化学物質の使用状況を Web 調査もしくは紙媒体による調査を行う。該当薬品を週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定しているが、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者には、産業医、衛生管理者が使用状況を確認し、必要に応じて健診を実施することになっている。

また、使用薬品によって法定の問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成している。他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な情報の記入や検査項目を受診してもらっている。

なお、対象者の中には、特定業務従事者健康診断(検査項目は一般健康診断と同じ)の有害業務と重複して受診が必要な者もいる。受診時の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は原則として別日程で計画しているが、状況次第で、両健診を同時に実施する場合もある。

3) 受診状況

2018年度及び2019年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表33～40に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示している。有所見者数は、診察での他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、これらの健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者が取りまとめ、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を経由して所轄の労働基準監督署に報告している。

表 33 第1回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 2018年度

	従事労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	9	9	9	9	0	0	0	0
常盤	10	10	10	10	0	0	3	0
小串	12	12	12	12	0	0	6	0
附属病院	7	7	7	7	0	0	6	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 34 第2回有機溶剤健康診断実施結果(単位:人) 2018年度

	従事労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	12	12	12	12	0	0	0	0
常盤	10	10	10	10	0	0	2	0
小串	11	11	11	11	0	0	6	0
附属病院	8	8	8	8	0	0	6	0

※実施項目のうち9「尿代謝産物」は延べ数

表 35 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果 (単位:人)

2019 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	10	10	10	10	0	0	0	0
常盤	10	10	10	10	0	0	4	0
小串	10	10	10	10	0	0	7	0
附属病院	9	9	9	9	0	0	8	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 36 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果 (単位:人)

2019 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物	
吉田	11	11	11	11	0	0	0	0
常盤	10	10	10	10	0	0	4	0
小串	9	9	9	9	0	0	5	0
附属病院	8	8	8	8	0	0	7	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 37 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2018 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	243	245	249	252	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	オルトトリジン (過去)	アクリルアミド	クロム酸 (過去を含む)	重クロム酸 (過去を含む)	ベンゼン (過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	コバルト	クロロホルム	ジクロロメタン	1・1・2・2- テトラクロロエタン	
吉田			2										0
常盤							1	1	1	4	2		0
小串	1	1		2	2	1							0
附病				2	2		1						0

表 38 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2018 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	243	245	249	252	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	オルトトリジン (過去)	アクリルアミド	クロム酸 (過去を含む)	重クロム酸 (過去を含む)	ベンゼン (過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	コバルト	クロロホルム	ジクロロメタン	1・1・2・2- テトラクロロエタン	
吉田			2										0
常盤										2	3		
小串	1	1		2	2	1							
附病				2	2		1						0

表 39 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2019 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	243	245	249	252	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	オルトトリジン (過去)	アクリルアミド	クロム酸 (過去を含む)	重クロム酸 (過去を含む)	ベンゼン (過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	コバルト	クロロホルム	ジクロロメタン	1・1・2・2- テトラクロロエタン	
吉田			2										0
常盤										1			0
小串	1	1		2	2	1							0
附病				4	4		1						0

表 40 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位: 人)

2019 年度

業務コード	002	104	201	211	221	230	233	237	243	245	249	252	有所見
薬品名	ベンジジン (過去)	オルトトリジン (過去)	アクリルアミド	クロム酸 (過去を含む)	重クロム酸 (過去を含む)	ベンゼン (過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	コバルト	クロロホルム	ジクロロメタン	1・1・2・2- テトラクロロエタン	
吉田			2										0
常盤							1			3	3	1	0
小串	1	1		2	2	1							0
附病				2	2		1						0

5. がん検診等

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、安衛室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。2016 年度に前立腺がん検診を新たに追加し、一部個人負担が導入された。2017 年度には、がん検診の申し込み手順及び受診方法が変更され、安衛室で作成・運用している web ページから受診希望者各自で申し込みすることで、事務作業の簡素化が図られた。また、この他胃がんリスク検診や指導勧奨に基づく特殊健康診断として VDT 健康診断を実施している。保健管理センターでは、検診会場の提供及び事前準備(設営)、健診結果の保管管理を行っている。各がん検診の対象者と検診項目を表 41 に、2018 年度及び 2019 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 42、43 に示した。

表 41 がん検診等の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(間接)、喀痰検査
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査
胃がんリスク検診	40歳以上	血液検査(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>) ※定期健診時に同時実施(2017年度から)
前立腺がん検診	40歳以上 男性職員	血液検査 ※定期健診時に同時実施(2017年度から)
乳がん検診	40歳以上 女性職員	問診、視触診、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※2年に1回(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	20歳以上 女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部) ※2年に1回(生まれ年で対象者を調整)
VDT 健康診断	VDT 作業に従事する全職員	問診、眼の検査(視力、眼位、調節機能)、握力検査

表 42 各地区の実施日および実施場所

2018 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/25～8/3	8/22～24	9/10～20	4/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/25～8/3	8/22～24	9/10～20	4/6
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	10/18, 19	11/7	10/9, 10, 29	10/30
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/25～8/3	8/22～24	9/10～20	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
前立腺がん	実施日	7/25～8/3	8/22～24	9/10～20	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
乳がん	実施日	11/13, 21, 28	11/9	11/8, 14, 20, 22, 26, 29	11/6
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	産学連携棟横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	11/13, 21, 28	11/9	11/8, 14, 20, 22, 26, 29	11/6
	場所	保健管理センター横 検診車	産学連携棟横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
VDT 健診	実施日	10/19	11/7	10/29	-
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	-

表 43 各地区の実施日および実施場所

2019 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/24～8/2	8/21～23	9/10～20	4/5
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/24～8/2	8/21～23	9/10～20	4/5
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/9, 10/8	10/15	10/18, 23, 24	8/8
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/24～8/2	8/21～23	9/10～20	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
前立腺がん	実施日	7/24～8/2	8/21～23	9/10～20	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
乳がん	実施日	11/5, 21	11/15	11/13, 19, 22, 26, 29	11/6
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	工学部保健室横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	11/5, 21	11/15	11/13, 19, 22, 26, 29	11/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
VDT 健診	実施日	8/9	10/15	10/24	8/8
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	附属光中学校保健室

2) 受診状況

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。

表 44 各種がん検診受診結果(事業場別)

2018 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	387	20	367	8	12	※喀痰検査件数 吉田 54 件 常盤 37 件 小串・附属病院 113 件 附属学校 7 件
	常盤	180	7	173	3	4	
	小串・附属病院	718	27	691	17	10	
	附属学校	61	3	58	2	1	
大腸がん	吉田	82	4	78	0	4	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	66	3	63	0	3	
	小串・附属病院	282	3	279	0	3	
	附属学校	43	1	42	0	1	
胃がん	吉田	58	19	39	18	1	※要精査内訳 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	25	7	18	6	1	
	小串・附属病院	116	25	91	10	5	
	附属学校	3	0	3	0	0	
前立腺がん	吉田	62	1	61	0	1	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	31	1	30	0	1	
	小串・附属病院	59	1	58	0	1	
	附属学校	3	0	3	0	0	
乳がん	吉田	55	3	52	0	3	※指導区分は視触診及びマンモグラフィ検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	17	2	15	0	2	
	小串・附属病院	242	17	225	0	17	
	附属学校	2	0	2	0	0	
子宮がん	吉田	64	1	63	0	1(1)	※要精査の()内は内診所見による有所見者 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	19	0	19	0	0	
	小串・附属病院	265	23	242	5	18(1)	
	附属学校	4	0	4	0	0	

表 45 胃がんリスク検診受診結果(事業場別)

2018 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	76	51	21	4	0	
	常盤	40	23	13	3	1	
	小串・附属病院	171	124	34	11	2	
	附属学校	9	6	3	0	0	

表 46 VDT 健診受診結果(事業場別)

2018 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
VDT 健診	吉田	6	3	3	0	
	常盤	4	2	2	0	
	小串・附属病院	11	10	1	0	
	附属学校	0	0	0	0	

表 47 各種がん検診受診結果（事業場別）

2019 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	384	33	351	19	14	※喀痰検査件数 吉田 23 件 常盤 15 件 小串・附属病院 64 件 附属学校 3 件
	常盤	168	14	154	10	4	
	小串・附属病院	754	59	695	46	13	
	附属学校	44	3	41	2	1	
大腸がん	吉田	103	4	99	0	4	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	67	2	65	0	2	
	小串・附属病院	258	9	249	0	9	
	附属学校	12	0	12	0	0	
胃がん	吉田	73	12	61	7	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	24	3	21	1	2	
	小串・附属病院	98	23	75	17	6	
	附属学校	1	0	1	0	0	
前立腺がん	吉田	54	2	52	0	2	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	27	1	26	0	1	
	小串・附属病院	64	2	62	0	2	
	附属学校	1	0	1	0	0	
乳がん	吉田	59	6	53	0	6	※指導区分は視触診及びマンモグラフィ検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	30	8	22	0	8	
	小串・附属病院	196	17	179	0	17	
	附属学校	3	0	3	0	0	
子宮がん	吉田	68	1	67	0	1	※要精査の()内は内診所見による有所見者 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	26	0	26	0	0	
	小串・附属病院	236	44	192	33	44(6)	
	附属学校	5	0	5	0	0	

表 48 胃がんリスク検診受診結果（事業場別）

2019 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	72	51	16	5	0	
	常盤	34	23	9	2	0	
	小串・附属病院	170	118	49	2	1	
	附属学校	2	2	0	0	0	

表 49 VDT 健診受診結果（事業場別）

2019 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
VDT 健診	吉田	8	7	1	0	
	常盤	6	2	4	0	
	小串・附属病院	10	10	0	0	
	附属学校	2	2	0	0	

Ⅲ 山口大学の安全衛生管理

Ⅲ 山口大学の安全衛生管理

1. 安全衛生管理体制

山口大学では、労働安全衛生法および学校保健安全法の下、「国立大学法人山口大学職員労働安全衛生管理規則」が、安全衛生活動の基盤となっている。全学レベルでは、人事労務担当副学長を筆頭とし、専任衛生管理者からなる労働安全衛生管理室や全学労働安全衛生委員会、労働安全衛生に関する事務組織である安全衛生対策室が推進役として活動している。また、各事業場レベルでは、総括安全衛生管理者(人事労務担当副学長・医学部長・附属病院長・工学部長)を筆頭に、専任衛生管理者、産業医、安全衛生委員会委員、安全衛生推進員、および各事業場の担当係等が、さらに部署レベルでは、各部署責任者や安全衛生推進員が中心となって、安全衛生活動を推進している。

山口大学各事業場の産業医、専任衛生管理者は表1に示した通りである。事業場によって事情が異なるため、事業場ごとの具体的な体制や保健管理センタースタッフの関わり方は様々である。また、各附属学校には規則上、産業医は置かれていないが、保健管理センター医師（主として吉田事業場産業医）が必要に応じて種々の相談に応じている。


表1 山口大学の事業場

	事業場	学部等	統括 産業医	産業医	メンタルヘルス 健康管理医	専任衛生管理者
1	吉田事業場	人文・経済・教育・理・農・ 共同獣医・国際総合科学部	保健管理 センター 所長	保健管理センター 医師 2 名	附属病院 精神科医師	保健管理センター 保健師
2	常盤事業場	工学部		創成科学研究科 医師		保健管理センター 保健師
3	小串事業場	医学部		医学系研究科 医師		保健管理センター 医師(労働安全衛生 管理室主任)
4	附属病院事業場	医学部附属病院		附属病院医師 及び保健管理セン ター医師		保健管理センター 保健師
5	教育学部附属山口小学校事業場			衛生推進者 (各事業場所属の養護教諭から任命)		
6	教育学部附属光小学校事業場					
7	教育学部附属山口中学校事業場					
8	教育学部附属光中学校事業場					
9	教育学部附属特別支援学校事業場					
10	教育学部附属幼稚園事業場					

2020年3月31日時点

2. 山口大学における主な取り組み

以下に、安全衛生に関する山口大学の主な取り組みを示す。

年度	主な出来事	山口大学における主な取り組み
2004年度 (平成16年度)	国立大学法人化	<ul style="list-style-type: none"> 専任衛生管理者4名(医師1名, 保健師3名)が保健管理センターに配属。 産業医として保健管理センター医師2名(吉田・常盤事業場)、および小串地区医師2名(小串・附属病院事業場)が任命される。
2005年度 (平成17年度)		<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生に関する事務担当として、人事課に安全衛生対策室(衛生管理係)設置 7月1日～7日を「山口大学安全週間」、10月1日～7日を「山口大学衛生週間」と設定 (2006年度より、「衛生週間」を「健康衛生週間」に変更)
2006年度 (平成18年度)	労働安全衛生法一部改正 (過重労働者の申し出に基づき、医師による面接指導義務化)	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス領域における産業医機能の強化のため、メンタルヘルス特命産業医制度を創設。保健管理センター精神科医師が任命される。 全学の労働安全衛生委員会に「化学物質専門部会」発足。 毎月10日は「山口大学安全の日」と制定。  図1安全の日ポスター
2007年度 (平成19年度)	若年者に麻疹流行	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地区国立大学法人労働安全衛生協議会を当番校として開催
2008年度 (平成20年度)	特定健康診査・特定保健指導開始	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症対策室設置要項」策定(従来の「SARS対策室設置要項」、「新型インフルエンザ対策室設置要項」は廃止) 「退職者の職務復帰に関する取り扱い」策定 健康診断の受診率を向上させるため、未受診者に「未受診理由等説明書」の提出の義務化(学内規則改正)
2009年度 (平成21年度)		<ul style="list-style-type: none"> 特定化学物質・特別管理物質の取扱い表示を整備
2010年度 (平成22年度)		<ul style="list-style-type: none"> 統括産業医制度が創設され、保健管理センター特命教授が任命される(～2014年)。 長時間労働者への産業医による面接指導の流れを見直し、整備。 4月～小串・附属病院事業場において敷地内全面禁煙実施(併せて附属病院に禁煙外来設置)
2011年度 (平成23年度)		<ul style="list-style-type: none"> 職員健康診断の有所見者に対し、「二次検査結果報告書」の提出を依頼することにより、精密検査の受診勧奨を強化。 胃がん検診におけるペプシノゲン法の実施見直し。
2012年度 (平成24年度)		<ul style="list-style-type: none"> 職員定期健康診断時に「メンタルヘルスアンケート」実施(～2015年。「職業性ストレス簡易調査票」の調査項目のうち、職場のストレス判定図を作成するために必要な項目に限定した調査を無記名式で実施。)
2013年度 (平成25年度)		<ul style="list-style-type: none"> 小串・附属病院事業場のメンタルヘルス対応強化策として、「メンタルヘルス健康管理医制度」が創設され、附属病院精神科医師が任命される。 「化学物質専門部会」が「化学物質安全管理委員会」として独立。
2014年度 (平成26年度)	特化則一部改正 (クロロホルム他9物質が特化物へ移行)	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス特命産業医制度、メンタルヘルス健康管理医制度を再編・統一。「メンタルヘルス健康管理医」が全学の相談に対応する体制となる。

年度	主な出来事	山口大学における主な取り組み
2015年度 (平成27年度)		・感染症対策として新規採用職員の「感染症罹患歴・予防接種歴・抗体検査結果に関する申告書」提出を開始。
2016年度 (平成28年度)	労働安全衛生法一部改正(リスクアセスメント義務化、ストレスチェック制度創設等)	・在職者全員に「感染症罹患歴・予防接種歴・抗体検査結果に関する申告書」の提出を依頼。 ・「ストレスチェック制度実施要項」策定。
2017年度 (平成29年度)		・過去5年分の職員健康診断結果を学内限定でweb閲覧できるシステムを構築 ・がん検診実施方法を一部見直し、web申し込み及び一部自己負担制を導入。 ・全学で職員健康診断受診率100%を達成 ・中国・四国地区国立大学法人労働安全衛生協議会を当番校として開催
2018年度 (平成30年度)	健康増進法一部改正(受動喫煙対策強化)	・敷地内全面禁煙および働き方改革関連法案の施行に向けて準備、検討
2019年度 (平成31年度) (令和元年度)	働き方改革関連法順次施行	・7月～敷地内全面禁煙 ・働き方改革関連法への対応について検討。産業医・産業保健機能強化のため、統括産業医(保健管理センター所長)設置。「心身の状態に関する情報の取り扱い規程」と「健康相談体制リーフレット」を作成し、学内に公表。各事業場の総括安全衛生管理者が集まる「総括安全衛生管理者会議」開催。 ・ストレスチェックについて外部委託へ ・職員健康診断時に希望した男性職員(厚生労働省のクーポン対象者)に風疹抗体検査実施(2021年度まで実施予定)

2018・2019年度の主な取り組み事項は以下のとおりである。

1) 敷地内禁煙

山口大学では従来禁煙・分煙の環境作りを進めてきたが、2018年7月に健康増進法の一部が改正されたことに伴い、敷地内禁煙にすることを盛り込んだ「受動喫煙防止対策方針」について安全衛生委員会等で議論、検討を重ねた。検討過程において賛否様々な意見が出されたが、結果として、改正法の趣旨である望まない受動喫煙を防止することを目的に、2019年7月より敷地内禁煙となった。

敷地内禁煙前は、主に構内への出入口(門付近)や喫煙所を中心に看板を増設して周知を行い、禁煙後は職場巡視等で適時状況の確認を行った。また、保健管理センターでは、従来実施していたニコチンパッチによる禁煙支援の他、ニコチンガムによる支援も開始した。その他、新入生全員に防煙教育に関する情報も載せた「健康ガイド」を配付する、健康診断等の機会を用いて喫煙者に禁煙を勧める、世界禁煙デーに食堂の一角で禁煙支援についてPRを行う等によって、喫煙対策を推進している。

2) 働き方改革関連法への対応

2019年4月に施行された働き方改革関連法により、「産業医・産業保健機能」が強化された。これに伴い、保健管理センター所長が全事業場に対応できる「統括産業医」として配置されたほか、吉田・附属病院事業場は産業医2名体制となった。また、「心身の状態に関する情報の取り扱い規程」を定め、情報の種類ごとに誰が取り扱うのかを明示し、教職員が安心して健康相談を行うことができるよう環境を整えた。また、相談者の氏名が入った「健康相談体制リーフレット」を作成し、前述の「取り扱い規程」とともに学内に公表した。

更に、各事業場の取り組みや安全衛生上の課題についての情報を共有し、横の連携を密にし、大学全体としての安全衛生施策の効果・効率の向上のため、各事業場の総括安全衛生管理者が集まる「総括安全衛生管理者会議」が年に1回開催されることとなった。

3) ストレスチェック実施方法の見直し

2016年に義務化されたストレスチェック制度については、これに先行して実施したメンタルヘルスアンケートをベースに「半匿名方式」で保健管理センター保健師や診察担当医師により、職業性ストレス簡易調査票の簡略版(23項目)で、職員定期健康診断と同時に実施してきた。この実施方法においては、半匿名方式で、かつ健康診断と同時に実施することで、高い受検率を得られた一方で、混雑する、学内関係者には話しにくい、保健管理センタースタッフの負担が増える等の課題もあった。

2019年からは、調査の集計が外部委託となり、半匿名化と予算面の利点は失われたものの、他の課題が解消でき、また標準版(57項目)での実施、結果のレーダーチャート表示、前年度も受検した者については前年の結果と比較が表示される等、各自のストレス状態がよりわかりやすいものとなった。

なお、ストレスチェックの実施後は集団分析を行い、結果について安全衛生委員会で報告している。

3. 安全衛生に関する日常業務内容

上述した年次別の主な取り組み事項以外に、日々以下のような業務を行っている。

1) 学内巡視

各事業場で専任衛生管理者を中心に、それぞれの実情に合わせて巡視を行なっている。巡視時に改善が必要と思われる事項があった場合は、その場での口頭指導や、総括安全衛生管理者から巡視報告文書を送付することで改善を促している。なお、職場巡視の結果は、毎月開催される各事業場の衛生委員会(もしくは安全衛生委員会)で報告を行っている。

また、法人化当初より、学外の安全衛生管理の実務専門家(労働安全衛生法に定める労働安全衛生コンサルタント等)と連携を図り、第二半期と第四半期にリスクアセスメント巡視とそれに基づく指導を実施している。これにより、学内の安全衛生水準および管理水準を現在の社会的水準で客観的に評価するとともに、安全衛生活動の継続的な改善の契機としている。

2) 作業環境測定

学内の作業環境測定士有資格者と外部委託によって、年2回、作業環境測定を実施している。

大半は管理区分Ⅰであるが、対策が必要と指摘された部屋(管理区分Ⅱ・Ⅲ)については、作業環境測定報告書に示される作業環境測定士による意見や、産業医や労働衛生コンサルタント等の意見を参考に、現場の巡視等で実験内容や作業方法等を確認し、各部屋の担当教員に作業内容の改善を依頼している。

改善後は、検知管による簡易測定等により、改善結果の内容が妥当かを確認している。これらの件は(安全)衛生委員会等でも報告、検討している。

3) ひやりはっと報告

学内におけるリスクの早期発見のため、法人化当初より「ひやりはっと報告」の導入に取り組んでおり、学生の実験実習中の事故や施設環境面の問題等、様々なことが報告されている。

4) 安全衛生教育

安全衛生に関する意識の啓発のため、年に数回、各事業場で安全衛生教育を実施している。化学物質取扱講習会、救急救命講習会、メンタルヘルス講習会等、各地区の安全衛生管理担当者が中心となって企画しているものの他、各研究室や講座等で実験や実習の前に適宜安全衛生教育が実施されている。

5) 安全衛生委員会等

各事業場では、毎月1回、衛生委員会あるいは安全衛生委員会が開催されており、保健管理センターからは医師と保健師が、産業医、衛生管理者または労働衛生コンサルタントとして出席している。また、山口大学全体としては、年に約4回、全学の安全衛生スタッフによる労働安全衛生委員会が開催されており、これにも産業医と各専任衛生管理者が出席している。

この他の放射線安全管理委員会、組み換えDNA実験安全委員会、バイオセーフティー委員会等のハザード別安全委員会にも労働安全衛生管理室主任(小串事業場の専任衛生管理者)として当センタースタッフが出席している。

IV 特別事業報告

IV特別事業報告

1. 研究業績一覧

1)学会発表

2018年度

1. 森本宏志:働き方改革時代における大学での過労死等防止対策に関する一考察～兼業・副業の促進に関する問題を中心に～、第48回中国四国大学保健管理研究集会、口演、鳥取、2018年8月
2. 中原敦子、田村雅子、森本宏志、波多野弘美、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、後藤久美子、松原敏郎、山本直樹、奥屋 茂:子宮頸がん体験検診啓発活動～山口県宇部健康福祉センターとの連携～、第48回中国四国大学保健管理研究集会、口演、鳥取、2018年8月
3. 梅本智子、森福織江、藤勝綾香、中原敦子、後藤久美子、原田有希子、波多野弘美、住田知子、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂、尾上佳代子、喜多川英行、近藤 圭、久長 穰:本学における職員の健康管理に関する取り組み、第48回中国四国大学保健管理研究集会、口演、鳥取、2018年8月
4. 中原敦子、波多野弘美、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、後藤久美子、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、奥屋茂:医学部医学科での麻疹抗体検査結果に基づく取り組みの見直し、第56回全国大学保健管理研究集会、ポスター、東京、2018年10月

2019年度

1. 森福織江、永井京子、瀬川真愛、藤勝綾香、梅本智子、原田有希子、中原敦子、小林久美、波多野弘美、住田知子、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂:子宮頸がん予防に関するアンケート調査結果および子宮頸がん体験検診の実施について、第49回中国四国大学保健管理研究集会、口演、愛媛、2019年8月
2. 森本宏志、森福織江、奥屋 茂、藤勝綾香、小林久美、梅本智子、中原敦子、山本直樹:在学生健診における胸部X線検査費用の一部自己負担制度と受診率への影響について、第57回全国大学保健管理研究集会、ポスター、札幌、2019年10月
3. 山本直樹、梅本智子、小林久美、中原敦子、森福織江、藤勝綾香、波多野弘美、原田有希子、住田知子、松原敏郎、森本宏志、奥屋 茂:大学職員定期健康診断における生活習慣病の動向と啓発活動の取り組み、第57回全国大学保健管理研究集会、ポスター、札幌、2019年10月
4. 奥屋 茂、藤勝綾香、森福織江、小林久美、原田有希子、梅本智子、中原敦子、波多野弘美、住田知子、山本直樹、森本宏志:山口大学での麻疹・風疹ワクチン接種率改善に向けての取り組み、第57回全国大学保健管理研究集会、ポスター、札幌、2019年10月

2) 論文・執筆

2018 年度

1. 森本宏志:働き方改革時代における大学での過労死等防止対策に関する一考察～兼業・副業の促進に関する問題を中心に～、第 48 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、47-52、2018
2. 中原敦子、田村雅子、森本宏志、波多野弘美、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、後藤久美子、松原敏郎、山本直樹、奥屋 茂:子宮頸がん体験検診啓発活動～山口県宇部健康福祉センターとの連携～、第 48 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、76-79、2018
3. 梅本智子、森福織江、藤勝綾香、中原敦子、後藤久美子、原田有希子、波多野弘美、住田知子、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂、尾上佳代子、喜多川英行、近藤 圭、久長 穰:本学における職員の健康管理に関する取り組み、第 48 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、92-96、2018
4. 中原敦子、波多野弘美、梅本智子、森福織江、藤勝綾香、後藤久美子、松原敏郎、山本直樹、森本宏志、奥屋茂:医学部医学科での麻疹抗体検査結果に基づく取り組みの見直し、CAMPUS HEALTH56(1)、266-268、2019.3
5. 山本直樹、森福織江、梅本智子、藤勝綾香、原田有希子、中原敦子、波多野弘美、小林久美、住田知子、森本宏志、奥屋 茂、松原敏郎:山口大学教職員定期健康診断における生活習慣病の傾向と予防対策の取り組み、大学教育第 16 号、76-79、2019.3

2019 年度

1. 森福織江、永井京子、瀬川真愛、藤勝綾香、梅本智子、原田有希子、中原敦子、小林久美、波多野弘美、住田知子、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂:子宮頸がん予防に関するアンケート調査結果および子宮頸がん体験検診の実施について、第 49 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、62-66、2019
2. 森本宏志、森福織江、奥屋 茂、藤勝綾香、小林久美、梅本智子、中原敦子、山本直樹:在学生健診における胸部 X 線検査費用の一部自己負担制度と受診率への影響について、CAMPUS HEALTH57(1)、86-88、2020.3
3. 山本直樹、梅本智子、小林久美、中原敦子、森福織江、藤勝綾香、波多野弘美、原田有希子、住田知子、松原敏郎、森本宏志、奥屋 茂:大学職員定期健康診断における生活習慣病の動向と啓発活動の取り組み、CAMPUS HEALTH57(1)、95-96、2020.3
4. 奥屋 茂、藤勝綾香、森福織江、小林久美、原田有希子、梅本智子、中原敦子、波多野弘美、住田知子、山本直樹、森本宏志:山口大学での麻疹・風疹ワクチン接種率改善に向けての取り組み、CAMPUS HEALTH57(1)、203-205、2020.3
5. 中原敦子、藤勝綾香、波多野弘美、梅本智子、森福織江、小林久美、山本直樹、森本宏志、奥屋 茂:医学部医学科での麻疹抗体検査結果に基づく取り組みについて、大学教育第 17 号、71-75、2020.3

2. 研究費等交付

保健管理センターでは、日常の保健管理業務に加え、受託研究費や科学研究費補助金等の交付を受けて教育的・社会的貢献の一環として研究活動も行っている。

1) 2018 年度

契約年月日	研究委託者	研究課題	研究経費	研究期間	研究者
2017/12/5 ～ 2019/3/31	株式会社ブラケア ジェネティクス	健康機器 Vitastiq の信頼性検 証試験	1,248,437 円	2017/12/5 ～ 2019/3/31	奥屋 茂

2) 2019 年度

該当なし

3. 講演その他

保健管理センターでは、医師及び保健師が健康教育活動の一環として、学内及び学外からの依頼により、講演活動を行っている。

1) 2018年度 (2018.4.1～2019.3.31の期間内)

年月日	講師	演題・テーマ	場所	参加人数	備考
2018.4.6	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SAの責務について	山口大学共通教育 SCS 教室	100名	山口大学共通教育 TA・SA研修会
2018.4.4	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用方法について	医学部総合研究棟 S1 講義室	130名	保健学科新入生オリ エンテーション
2018.6.11	保健管理センター 保健師 藤勝綾香	七夕祭食中毒予防講習会	共通教育 2 番教室	80名	七夕祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2018.6.15	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	山口大学の安全衛生状況と完全衛生 目標及び計画について (小串キャンパス)	山口大学医学部 総合研究棟1階 S1 講義室	100名	小串地区 安全衛生推進員 連絡会
2018.6.6	保健管理センター 保健師 中原敦子	事故が起こった時の応急処置	医学部講義棟A (1階)第1講義室	30名	化学物質および実験 廃液の取扱についての 講習会
2018.6.21	保健管理センター 准教授 森本宏志	メンタルヘルス対策と高ストレス者に 対する面接指導の実施方法	海峡メッセ下関・ 804号会議室	50名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2018.7.6	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働対策と長時間労働者への面 接指導の実施方法	山口県セミナーバ ーク・セミナー室2	50名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2018.8.22	保健管理センター 准教授 森本宏志	ストレスチェックの基本と最近の動向 ～小規模事業場でのストレスチェック の始め方～	ココランド山口・宇 部 2F リベルテ	30名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2018.9.4	保健管理センター 保健師 中原敦子	抗体検査結果の見かたについて	医学部M1講義室	120名	医学科 4 年臨床実習 前オリエンテーション
2018.9.30	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病大血管症、メタボリックシンドロ ーム、その他	山口県総合保健会 館2階「第一研修 室」	220名	山口県糖尿病療養指 導士講習会
2018.10.11	保健管理センター 准教授 森本宏志	リスクアセスメントと労働安全衛生 マネジメントシステムの基本と最近の 動向	海峡メッセ下関・ 805号会議室	20名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2018.10.17	保健管理センター 保健師 森福織江	姫山祭食中毒予防講習会	共通教育 3 番教室	20名	姫山祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2018.10.19	保健管理センター 保健師 梅本智子	常盤祭食中毒予防講習会	工学部講義室 D23	20名	常盤祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2018.11.12	保健管理センター 准教授 森本宏志	第 65 回学長杯駅伝大会前の救急講 習会	共通教育 27 番教室	37名	左記大会参加者およ び補助員向け簡易心 肺蘇生法講習会
2018.11.22	保健管理センター 准教授 森本宏志	リスクアセスメントと労働安全衛生 マネジメントシステムの基本と最近の 動向	周南地域地場産業 振興センター 会議室3	30名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.1.16	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働にかかる 健康障害防止に ついて	周南地域地場産業 振興センター 会議室3	20名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.2.6	保健管理センター 教授 奥屋 茂	派遣留学にかかる予防接種ガイド ンス	共通教育 4 番教室	100名	国際総合科学部派遣 留学参加学生
2019.2.15	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理者能力向上セミナー	小郡地域交流 センター	30名	山口県労働基準協会

2) 2019 年度 (2019. 4. 1~2020. 3. 31 の期間内)

年月日	講師	演題	場所	参加人数	備考
2019.4.4	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用方法について	医学部総合研究棟 S1 講義室	130 名	保健学科新入生オリエンテーション
2019.4.5	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SAの責務について	山口大学共通教育 SCS 教室	100 名	山口大学共通教育 TA・SA研修会
2019.4.5	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用について	医学部M1講義室	130 名	医学部医学科 2 年生 オリエンテーション
2019.4.5	保健管理センター 保健師 中原敦子	保健管理センターの利用について 安全衛生・健康について	医学部総合研究棟 S3 講義室	80 名	看護学専攻 2 年オリエンテーション
2019.5.15	保健管理センター 保健師 梅本智子	毒劇物取扱講習会 -事故防止と応急処置-	工学部講義棟 C11	200 名	「労働安全衛生特論 (集中講義)」 労働安全衛生講習会
2019.5.29	保健管理センター 准教授 森本宏志	働き方改革における労働安全衛生 法改正の理解に基づく 産業医の活用 セミナー	山口県健康づくり センター・第2研修 室	30 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.6.5	保健管理センター 保健師 森福織江	七夕祭食中毒予防講習会	共通教育1番教室	100 名	七夕祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2019.6.14	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	山口大学の安全衛生状況と完全衛 生目標及び計画について (小串キャンパス)	山口大学医学部 総合研究棟1階 S1 講義室	100 名	小串地区 安全衛生推進員 連絡会
2019.6.20	保健管理センター 准教授 森本宏志	働き方改革に関連する労基法と 安 衛法の改正と産業医・産業保健機能 の強化と留意点	山口県健康づくり センター・第3研修 室	30 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.6.26	保健管理センター 保健師 中原敦子	事故が起こった時の応急処置	医学部講義棟A (1 階) 第 1 講義室	30 名	化学物質および実験 廃液の取扱についての 講習会
2019.8.8	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働対策と長時間労働者の面 接指導について (DVDを使用した 実習を含む)	海峡メッセ下関・ 805 号会議室	30 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.9.3	保健管理センター 保健師 中原敦子	抗体検査結果の見かたについて	医学部M1講義室	120 名	医学科 4 年臨床実習 前オリエンテーション
2019.9.15	保健管理センター 教授 奥屋 茂	糖尿病大血管症、メタボリックシンド ローム、その他	山口県総合保健会 館2階「第一研修 室」	220 名	山口県糖尿病療養指 導士講習会
2019.10.17	保健管理センター 准教授 森本宏志	化学物質のリスクアセスメントと 労 働安全衛生マネジメントシステムに ついて	デザインプラザHO FU・技術研修室A	20 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2019.10.17	保健管理センター 保健師 森福織江	姫山祭食中毒予防講習会	共通教育 3 番教室	30 名	姫山祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2019.10.18	保健管理センター 保健師 梅本智子	常盤祭食中毒予防講習会	工学部講義室 D12	20 名	常盤祭模擬店出店者 事前衛生指導講習会
2019.11.13	保健管理センター 准教授 山本直樹	第 66 回学長杯駅伝大会前の救急講 習会	共通教育1番教室	46 名	左記大会参加者およ び補助員向け簡易心 肺蘇生法講習会
2020.1.29	保健管理センター 准教授 森本宏志	過過重労働にかかる健康障害防止 について (DVDを用いた面接指導 体験を含む)	海峡メッセ下関・ 804 号会議室	20 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2020.2.6	保健管理センター 准教授 森本宏志	労働災害防止計画のなかでの労働 安全衛生マネジメントシステムと JISQ45001 について	シンフォニア岩国・ 2階特別会議室	30 名	山口産業保健総合支 援センター 産業保健セミナー
2020.2.7	保健管理センター 教授 奥屋 茂	派遣留学にかかる予防接種ガイド ンス	共通教育 4 番教室	100 名	国際総合科学部派遣 留学参加学生
2020.2.19	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生管理者能力向上セミナー	小郡地域交流セン ター	30 名	山口県労働基準協会

4. 医療講習会

保健管理センターでは、保健衛生に関する知識の普及の一環として、学内外から講師を招き講習会を開催（共催）している。下表にて、保健管理センターが携わった講習会について示す。

1) 2018年度

年月日	演題	講師	対象	場所	参加人数
2018.6.19	正しく知ってほしい子宮頸がんのこと	総合病院山口赤十字病院 申神 正子先生	学生(性別・年齢問わず可)	共通教育 24 番教室	16 名
2018.12.11	アスリートのための体幹トレーニング	至誠館大学 井川 貴裕先生	体育会所属学生	第一体育館	100 名

2) 2019年度

年月日	演題	講師	対象	場所	参加人数
2020.2.7	こどもたちの大切な命を守るための講習会 -アナフィラキシーへの対応-	MFA JAPAN 国際認定 ファシリテーター ファーストエイド 山口センター代表 木村 美枝子先生	学生(性別・年齢問わず可)	共通教育 24 番教室	40 名

(参考) 広報用ポスター

あなたの未来のために・・・
あなたの大切なひとの未来のために・・・

山大学生のための

子宮頸がん予防セミナー & 子宮頸がん体験検診

主催 山口県山口健康福祉センター・山口大学保健管理センター

正しく知ってほしい子宮頸がんのこと
～生涯を通じて女性の健康について一緒に考えましょう～

【日時】平成30年6月19日(火) 10:30～11:50
【会場】共通教育 24番教室
【講師】総合病院山口赤十字病院女性診療科部長
申神 正子先生

要申込 性別・年齢問わず受講可能
女子学生の皆さんだけでなく男子学生の皆さんもぜひお越しください。

子宮頸がん体験検診
【対象】40名程度

【日時】平成30年6月19日(火) 13:00～15:00
【会場】保健管理センターリフレッシュルーム

無料 検診は無料が対象
要申込 対象の女子学生対象

美その他にも乳がん検診モデルによる自己検診体験が人気検診に当たるパンフレット配布、資料帳を配布します！

6月6日締切

申込方法
別紙申込書を記入の上、保健管理センターへご持参ください。
（申込書は保健管理センターにあります。また、保健管理センターHPからダウンロードも可能です。）
＜詳しい内容は＞保健管理センター・083-933-5160

こどもたちの大切な命を守るための講習会 ～アナフィラキシーへの対応～

皆さんは「エビイベント」をご存じですか？
エビイベントは、アナフィラキシー（アレルギーに重症に陥れやすい）急性アレルギー（皮膚）症状のある人からアナフィラキシー教師の専任者が高い人に対し意識により近づき、本人や家族が緊急事態に臨む際の対応方法を学ぶための講習会です。基本事項は当然ですが、ここで学ぶように事後対応が重要で、緊急に要する場合は関係者の手助けが必要となります。

近年、急性アレルギーでエビイベントを開催する機会も増えてきています。ボランティア活動や授業支援などで共に働く学生の皆さんにぜひ知っていただきたい内容として、エビイベントアナフィラキシーが対象となる方への対応についての講習会を開催します。

エビイベントについては授業で学ぶ機会が少なく、マニュアルだけでは分からない実地の対応が学べる貴重な機会となります。ぜひご参加ください！

日時 2020年2月7日(金)
13:00～15:00

※講習会終了後に質疑応答あり

講師 MFA JAPAN 国際認定ファシリテーター
ファーストエイド 山口センター代表
木村 美枝子先生

対象 アナフィラキシーへの対応について学びたい学生

定員 40名(定員)
※当日は来校が取り急ぎです。お申し込みは先着順です。

【講習会のお申込み・お問い合わせ先】
山口大学保健管理センター
Tel:083-933-5160 mail:hoken@yamaguchi-u.ac.jp

5. 保健管理センター便り発行

保健管理センターでは、山口大学の職員及び学生に向けて、健康情報及び健康に関する行事や種々サービスの利用に関するインフォメーション提供を目的として、「保健管理センター便り」を年5回(新入生特集号、5月、7月、10月、1月)発行している。多くの人に注目してもらえるように、表紙にはワンポイントヘルスアドバイスの内容に応じたカラーイラストを掲載している。なお発行方法は、新入生特集号のみ紙媒体とし、他号は保健管理センターホームページ上に Web 版で発行している。

1)2018 年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
5月	257	アルコールハラスメントについて	胸やけ 医師 山本 直樹	山大生の朝ごはん事情 保健師 藤勝 綾香	朝食をしっかりと食べよう
7月	258	麻しんについて	梅雨時の体調不良とその対策 医師 奥屋 茂	ストレスマネジメント(20)『怒り』のコントロール 保健師 梅本 智子	熱中症予防について
10月	259	健康行動継続のコツについて	健康と病と障害の理解と宇宙論～わたしの「遺言。」～ 医師 森本 宏志	健やかな生活は健康な睡眠から！ 看護師 後藤久美子	ヘルスリテラシーと健康行動
1月	260	マスクの正しい着用方法について	「ダイバーシティってなんだろう」 医師 松原 敏郎	山大生の子宮頸がん予防に関するアンケート結果 保健師 森福 織江	「どこで吸うか」を悩むなら禁煙を！
3月	261	健康ガイド(新入生特集号)			

2)2019 年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
5月	262	便秘について	禁煙チャレンジ 医師 奥屋 茂	肩こり～原因と予防策～ 保健師 中原 敦子	便秘について
7月	263	日焼け対策について	夏の星座とセルフメディケーション 医師 森本 宏志	保健管理センターでの禁煙支援 保健師 藤勝 綾香	効果的な日焼け対策！
10月	264	体格指数(BMI)を知ろう	便秘症 医師 山本 直樹	ストレスマネジメント(21)自分の『価値観』に向き合う 保健師 梅本 智子	「食欲の秋」を楽しむ～食べ方のコツ～
1月	265	睡眠負債について	VPDと予防接種 医師 奥屋 茂	注意すべき大人の風疹 保健師 小林 久美	良質な睡眠を得るために
3月	266	健康ガイド(新入生特集号)			

V 保健管理センター利用状況

V 保健管理センター利用状況

1. 医療機関紹介

1) 山口地区

(1) 2018年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	31	0	2	0	17	1	13	1	8	1	7	0	2	0	3	0	0	0	7	0	90	3
5月	63	1	4	0	15	0	18	1	11	0	16	0	4	0	17	0	1	0	7	0	156	2
6月	23	0	0	1	26	0	35	1	9	0	8	0	2	0	2	0	0	0	4	0	109	2
7月	44	1	3	0	18	0	14	0	4	2	8	0	0	0	11	0	0	0	5	0	107	3
8月	6	0	1	1	2	1	7	0	2	0	7	0	1	1	8	0	0	0	1	0	35	3
9月	4	1	0	1	5	0	2	0	0	0	12	1	1	0	2	0	2	0	1	1	29	4
10月	40	0	1	0	11	0	8	0	2	1	14	0	7	0	17	0	1	0	5	0	106	1
11月	40	0	3	0	10	0	12	0	5	0	5	0	1	1	3	0	1	0	5	0	85	1
12月	23	0	4	0	14	0	8	1	1	0	6	0	7	0	5	0	0	3	4	1	72	5
1月	37	3	3	1	11	0	5	0	2	0	5	0	10	0	4	0	1	0	5	0	83	4
2月	21	1	2	0	6	0	5	1	1	0	3	0	4	0	1	0	0	0	1	0	44	2
3月	10	0	1	0	0	2	2	1	2	0	3	0	3	0	5	0	2	0	1	1	29	4
計	342	7	24	4	135	4	129	6	47	4	94	1	42	2	78	0	8	3	46	3	945	34

(2) 2019年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	32	0	2	0	4	2	14	3	0	0	1	0	5	1	0	0	4	0	2	0	64	6
5月	34	2	1	0	21	2	19	0	3	0	19	0	8	0	15	0	0	0	8	0	128	4
6月	19	0	2	0	22	0	15	2	2	0	11	0	4	1	11	0	8	0	6	0	100	3
7月	39	0	5	0	19	2	15	1	7	0	9	0	2	0	9	0	2	0	5	0	112	3
8月	4	0	0	0	4	0	8	1	2	0	5	0	0	0	6	0	0	0	1	0	30	1
9月	16	1	0	0	4	0	6	0	0	0	5	0	4	0	1	0	0	0	2	0	38	1
10月	34	1	3	0	8	0	20	0	2	0	10	2	3	0	19	0	0	0	5	0	104	3
11月	36	6	1	0	10	0	8	3	3	0	11	0	18	0	14	0	0	1	3	0	104	10
12月	32	2	2	0	13	2	9	0	3	1	15	0	4	0	16	1	2	1	6	3	102	10
1月	20	2	2	1	5	0	12	1	3	1	7	0	1	0	5	0	3	0	0	0	58	5
2月	9	1	0	0	3	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	1	20	3
3月	5	2	1	1	3	3	5	0	1	0	1	1	3	0	0	0	7	0	0	0	26	7
計	280	17	19	2	116	12	133	11	26	2	97	3	52	2	96	1	28	2	39	4	886	56

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

2) 常盤地区

(1) 2018年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	12	3	0	1	6	0	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	2	0	31	4
5月	18	0	1	0	4	0	5	0	2	0	3	0	2	0	2	0	2	0	6	0	45	0
6月	11	1	2	0	5	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	22	2
7月	10	0	2	0	7	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	25	1
8月	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1
9月	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10	0
10月	6	0	1	0	0	0	5	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	0	18	1
11月	12	1	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1	0	2	0	1	0	22	2
12月	7	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	2	0	15	0
1月	15	0	0	0	1	0	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0
2月	7	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
3月	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
計	103	5	8	2	26	0	29	1	9	1	26	1	3	1	6	0	7	0	19	1	236	12

(2) 2019年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	6	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	14	0
5月	7	1	0	0	0	1	2	0	2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	17	2
6月	5	2	2	0	6	1	4	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	1	0	25	3
7月	9	0	0	0	1	1	6	0	1	0	0	0	5	0	2	0	0	0	2	0	26	1
8月	0	0	0	0	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6	3
9月	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
10月	1	2	1	0	2	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	10	3
11月	11	0	3	0	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	2	0	24	1
12月	4	0	1	0	4	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	13	0
1月	9	0	0	0	1	0	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	1	19	1
2月	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2
3月	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2
計	61	8	10	0	21	4	20	1	9	0	12	1	16	0	6	0	4	0	10	4	169	18

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

3) 小串地区

(1) 2018年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	5	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	12	0
5月	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	11	0
6月	9	0	0	0	1	0	2	0	1	0	4	0	1	0	1	0	1	0	4	0	24	0
7月	6	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	1	
8月	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	4	0	9	3
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	8	1	0	0	5	0	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	21	1
11月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	8	1
12月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0
1月	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	12	0
2月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	48	4	0	0	9	0	8	0	4	0	12	0	4	0	6	0	3	2	21	0	115	6

(2) 2019年度

	内科		外科		整形		皮膚科		眼科		耳鼻科		歯科		産婦人科		精神科		その他		計	
	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員	学生	職員
4月	6	1	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12	1
5月	5	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
6月	2	1	0	0	2	0	5	0	2	0	2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	18	1
7月	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	12	0
8月	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
9月	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
10月	3	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	13	0
11月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
12月	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
1月	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	0
2月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0
3月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
計	44	2	0	0	12	0	14	0	2	0	10	0	4	0	9	0	1	0	5	0	101	2

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

3. 健康診断証明書発行状況

健康診断証明書は発行年度の学生定期健康診断の所定の項目をすべて受診していることが条件である。受付・発行は各地区保健管理センターにて行っている。職員については定期健康診断結果再発行は人事課安全衛生対策室で行い、健康診断証明書は保健管理センターにて発行している。

1) 2018年度（発行期間 2018年5月11日～2019年3月29日）※4月は主に奨学金、教育実習用

(1) 学部別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 文	8	167	23	13	24	12	17	11	1	4	2	72	354
教 育	0	73	55	24	35	12	28	9	2	0	2	19	259
経 済	0	336	52	21	38	22	6	4	6	2	19	146	652
理	13	149	8	5	31	30	5	4	1	1	2	43	292
医	0	17	47	38	26	3	7	4	2	0	34	6	184
工	0	122	49	30	5	8	11	1	2	0	4	134	366
農	2	60	13	15	10	2	2	1	2	2	2	106	217
共同獣医	0	5	2	0	0	5	0	1	1	0	1	2	17
国際総合科学部	0	99	15	6	4	1	6	0	1	0	4	11	147
人文科学研究科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
教育学研究科	0	0	0	1	2	0	0	1	3	0	0	0	7
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
東アジア研究科	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5
創成科学研究科		348	56	31	11	18	8	4	4	25	55	300	860
理工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学系研究科	0	0	0	11	6	0	0	1	0	8	3	6	35
連合獣医学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取大学連合農学研究科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
技術経営研究科	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	25	1379	324	195	192	113	91	41	28	42	128	846	3404

(2) 目的発行別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職用	1	1171	260	165	129	89	53	24	13	32	122	842	2901
奨学金用	1	5	0	0	0	3	0	2	7	0	1	1	20
進学用	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アルバイト用	0	9	2	8	3	0	5	5	6	1	1	0	40
教育実習用	23	187	56	20	58	21	32	8	2	0	1	1	409
その他	0	6	5	2	2	0	1	2	0	9	3	2	32
計	25	1379	324	195	192	113	91	41	28	42	128	846	3404

上記以外に学外医療機関受診結果分入力発行は42枚、所定用紙による診断書発行（医学部抗体検査結果証明書含む）は173枚、職員は47枚であった。

2) 2019年度（発行期間 令和元年5月15日～令和2年3月31日）※4月は主に奨学金、教育実習用

(1) 学部別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 文	6	76	52	27	9	8	8	2	2	2	5	45	242
教 育	0	56	48	36	21	13	11	6	0	2	1	4	198
経 済	0	200	45	34	16	20	17	2	4	3	21	111	473
理	12	83	10	20	8	10	9	6	1	0	17	39	215
医	0	7	50	59	14	23	15	8	1	50	26	5	258
工	0	92	38	26	11	12	2	11	0	2	27	69	290
農	1	41	5	10	3	4	2	0	1	0	7	17	91
共同獣医	1	4	1	1	1	2	1	1	1	1	0	1	15
国際総合科学部	2	49	31	9	0	9	1	0	0	0	1	10	112
人文科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学研究科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
経済学研究科	0	16	2	1	0	8	0	0	0	0	0	6	33
東アジア研究科	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5
創成科学研究科	0	217	91	47	21	17	8	4	5	28	41	230	709
理工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学系研究科	0	1	0	1	0	3	1	3	0	0	4	0	13
連合獣医学研究科	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
鳥取大学連合農学研究科	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
技術経営研究科	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	846	388	271	104	129	75	43	18	88	150	538	2672

(2) 目的発行別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職用	0	695	330	236	78	113	57	33	8	85	137	531	2303
奨学金用	1	6	0	1	1	1	0	1	7	0	2	0	20
進学用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
アルバイト用	0	7	5	5	3	5	5	0	2	1	7	1	41
教育実習用	19	128	40	21	19	8	11	6	1	0	2	4	259
その他	2	10	13	8	3	2	2	3	0	0	2	1	46
計	22	846	388	271	104	129	75	43	18	88	150	538	2672

上記以外に学外医療機関受診結果分発行は45枚、所定用紙による診断書等発行（医学部抗体検査結果証明書含む）は145枚、職員は32枚であった。

2. 月別利用状況内訳

保健管理センター利用状況について年度別・地区別・学生職員別に示した。集計は「相談票」記入者を対象とした。

1) 2018年度

(1) 学生 (山口地区)

2018年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	2	0.07	1	0.08	1	0.07	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2	0.07	1	0.08	1	0.07	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	696	26.05	319	25.50	377	26.53	42	72	84	78	30	39	69	71	81	53	44	33
6. 神経系の疾患	13	0.49	9	0.72	4	0.28	1	3	3	0	1	0	1	1	0	2	1	0
7. 眼及び付属器の疾患	39	1.46	19	1.52	20	1.41	6	9	7	3	0	0	2	6	1	2	1	2
8. 耳及び乳様突起の疾患	20	0.75	7	0.56	13	0.91	3	7	2	0	1	1	2	1	1	2	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.04	0	0.00	1	0.07	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	652	24.40	319	25.50	333	23.43	67	139	107	49	13	8	83	80	34	47	15	10
11. 消化器系の疾患	118	4.42	58	4.64	60	4.22	14	17	20	10	6	4	15	8	7	8	8	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	103	3.85	48	3.84	55	3.87	11	16	29	9	8	2	6	11	6	1	4	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	70	2.62	41	3.28	29	2.04	5	9	11	6	5	1	8	6	10	4	5	0
14. 尿路性器系の疾患	65	2.43	3	0.24	62	4.36	6	12	13	7	3	1	10	8	2	2	0	1
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	230	8.61	91	7.27	139	9.78	22	37	19	31	12	8	32	24	12	13	11	9
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	456	17.07	211	16.87	245	17.24	43	73	98	89	23	22	26	32	29	12	8	1
20. 傷病の外因 (再掲)	456	17.07	211	16.87	245	17.24	43	73	98	89	23	22	26	32	29	12	8	1
交通事故 (自転車も含む)	3	0.11	2	0.16	1	0.07	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいなくても該当せず)	441	16.50	199	15.91	242	17.03	43	72	88	86	22	22	26	32	29	12	8	1
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	0.45	10	0.80	2	0.14	0	1	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	205	7.67	124	9.91	81	5.70	18	35	17	21	5	16	24	18	22	21	4	4
計	2672	100.00	1251	100.00	1421	100.00	238	430	411	303	108	102	279	267	205	167	101	61

(2) 職員 (山口地区)

2018年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2	0.54	0	0.00	2	1.05	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	166	44.74	82	45.30	84	44.21	5	14	24	10	15	16	16	14	12	11	14	15
6. 神経系の疾患	5	1.35	0	0.00	5	2.63	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
7. 眼及び付属器の疾患	10	2.70	3	1.66	7	3.68	2	1	0	3	0	2	1	0	0	1	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	2	0.54	0	0.00	2	1.05	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	58	15.63	33	18.23	25	13.16	1	4	4	3	3	1	10	7	6	10	8	1
11. 消化器系の疾患	9	2.43	3	1.66	6	3.16	1	1	2	0	1	0	0	2	0	1	1	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5	1.35	2	1.10	3	1.58	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19	5.12	15	8.29	4	2.11	7	2	0	1	1	1	4	1	0	0	1	1
14. 尿路性器系の疾患	3	0.81	1	0.55	2	1.05	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	23	6.20	7	3.87	16	8.42	1	4	1	4	0	3	2	4	0	1	3	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	40	10.78	17	9.39	23	12.11	4	6	3	2	7	6	3	0	1	2	1	5
20. 傷病の外因 (再掲)	40	10.78	17	9.39	23	12.11	4	6	3	2	7	6	3	0	1	2	1	5
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいなくても該当せず)	39	10.51	17	9.39	22	11.58	4	6	3	2	6	6	3	0	1	2	1	5
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.27	0	0.00	1	0.53	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	29	7.82	18	9.94	11	5.79	0	2	2	1	0	10	6	1	2	1	1	3
計	371	100.00	181	100.00	190	100.00	23	37	37	27	27	42	42	30	22	29	29	26

(3) 学生 (常盤地区)

2018年度 (常盤地区)

	総 数						月 別											
	男		女															
	実 数	%	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0.16	1	0.21	0	0.00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	83	13.67	79	16.26	4	3.31	10	9	5	9	5	2	10	10	5	7	6	5
6. 神経系の疾患	3	0.49	2	0.41	1	0.83	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	8	1.32	5	1.03	3	2.48	0	1	2	0	0	1	0	1	1	0	2	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	4	0.66	3	0.62	1	0.83	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	2	0.33	2	0.41	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10. 呼吸器系の疾患	169	27.84	149	30.66	20	16.53	8	19	14	20	6	6	18	23	11	32	9	3
11. 消化器系の疾患	23	3.79	20	4.12	3	2.48	2	3	1	4	0	1	2	4	1	1	4	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	12	1.98	7	1.44	5	4.13	1	0	1	1	0	0	2	0	1	3	3	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18	2.97	14	2.88	4	3.31	4	1	0	4	0	0	5	0	3	0	1	0
14. 泌尿器系の疾患	6	0.99	0	0.00	6	4.96	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	35	5.77	25	5.14	10	8.26	3	2	7	12	0	1	2	6	2	0	0	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	120	19.77	92	18.93	28	23.14	8	22	12	25	8	7	7	12	14	3	1	1
20. 傷病の外因(再掲)	120	19.77	92	18.93	28	23.14	8	22	12	25	8	7	7	12	14	3	1	1
交通事故(自転車も含む)	1	0.16	1	0.21	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故(ボールや人など相手がいなかった場合は該当せず)	116	19.11	83	17.08	26	21.49	8	22	11	25	6	7	12	14	3	1	1	1
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0.49	1	0.21	2	1.65	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	123	20.26	89	18.31	34	28.10	14	15	10	16	8	7	16	13	8	9	4	3
計	607	100.00	486	100.00	121	100.00	51	76	55	92	27	26	63	71	47	56	31	12

(4) 職員 (常盤地区)

2018年度 (常盤地区)

	総 数						月 別											
	男		女															
	実 数	%	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	8	5.10	6	3.00	2	2.44	0	0	1	2	0	1	1	0	1	0	0	2
6. 神経系の疾患	10	6.37	0	0.00	10	12.20	1	0	0	2	3	0	0	1	1	1	0	1
7. 眼及び付属器の疾患	4	2.55	2	2.67	2	2.44	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.64	1	1.33	0	0.00	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	36	22.93	23	30.67	13	15.85	1	2	2	0	1	4	5	5	6	2	4	4
11. 消化器系の疾患	8	5.10	5	6.67	3	3.66	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2	2	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5	3.18	1	1.33	4	4.88	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4	2.55	1	1.33	3	3.66	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	2	1.27	0	0.00	2	2.44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	9	5.73	2	2.67	7	8.54	2	1	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	34	21.66	14	18.67	20	24.39	4	4	0	1	3	10	5	0	3	0	4	0
20. 傷病の外因(再掲)	34	21.66	14	18.67	20	24.39	4	4	0	1	3	10	5	0	3	0	4	0
交通事故(自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故(ボールや人など相手がいなかった場合は該当せず)	32	20.38	14	18.67	18	21.95	4	3	0	1	3	10	4	0	3	0	4	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1.27	0	0.00	2	2.44	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	36	22.93	20	26.67	16	19.51	0	3	3	3	3	11	4	4	1	1	1	2
計	157	100.00	75	100.00	82	100.00	10	10	6	9	12	27	19	17	17	6	12	12

(5) 学生 (小串地区)

2018年度 (小串地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1	0.16	0	0.00	1	0.28	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	50	7.85	4	1.43	46	12.89	4	7	8	5	4	6	1	4	0	4	4	3
6. 神経系の疾患	3	0.47	0	0.00	3	0.84	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	4	0.63	3	1.07	1	0.28	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	1	0.16	0	0.00	1	0.28	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.16	1	0.36	0	0.00	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	176	27.63	83	29.64	93	26.05	24	20	20	11	4	9	21	30	7	17	9	4
11. 消化器系の疾患	20	3.14	10	3.57	10	2.80	1	0	3	1	0	2	4	4	1	2	2	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	8	1.26	2	0.71	6	1.68	0	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	26	4.08	18	6.43	8	2.24	1	2	5	1	3	4	3	2	2	1	2	0
14. 泌尿器系の疾患	17	2.67	0	0.00	17	4.76	3	3	3	0	0	1	4	0	1	1	0	1
15. 妊娠、分娩及び産褥	1	0.16	0	0.00	1	0.28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	55	8.63	24	8.57	31	8.68	0	6	7	12	2	5	7	6	2	4	4	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	105	16.48	62	22.14	43	12.04	14	15	12	15	3	13	15	9	3	4	1	1
20. 傷病の外因 (再掲)	105	16.48	62	22.14	43	12.04	14	15	12	15	3	13	15	9	3	4	1	1
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	11	1.73	5	1.79	6	1.68	3	1	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0
自殺未遂	2	0.31	2	0.71	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	92	14.44	55	19.64	37	10.36	11	13	10	13	3	11	13	9	3	4	1	1
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	169	26.53	73	26.07	96	26.89	16	18	26	7	7	7	9	16	16	26	8	13
計	637	100.00	280	100.00	357	100.00	64	75	88	54	25	50	66	72	32	59	30	22

(6) 職員 (小串地区)

2018年度 (小串地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	21	12.21	3	5.56	18	15.25	1	2	4	4	4	0	1	2	1	0	1	1
6. 神経系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	3	1.74	0	0.00	3	2.54	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	3	1.74	1	1.85	2	1.69	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
10. 呼吸器系の疾患	37	21.51	15	27.78	22	18.64	6	3	2	3	2	0	2	4	5	2	6	2
11. 消化器系の疾患	4	2.33	1	1.85	3	2.54	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	1.16	0	0.00	2	1.69	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
14. 泌尿器系の疾患	1	0.58	0	0.00	1	0.85	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	13	7.56	6	11.11	7	5.93	2	1	2	0	1	0	3	0	0	1	0	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7	4.07	1	1.85	6	5.08	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1
20. 傷病の外因 (再掲)	7	4.07	1	1.85	6	5.08	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	1	0.58	0	0.00	1	0.85	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6	3.49	1	1.85	5	4.24	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	81	47.09	27	50.00	54	45.76	10	8	4	6	3	1	9	10	7	11	10	2
計	172	100.00	54	100.00	118	100.00	20	16	13	15	13	2	18	17	14	15	19	10

2) 2019年度
(1) 学生 (山口地区)

2019年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	3	0.15	3	0.32	0	0.00	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0.05	0	0.00	1	0.09	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	704	34.08	370	39.57	334	29.53	53	60	69	85	41	23	68	79	64	73	44	45
6. 神経系の疾患	6	0.29	3	0.32	3	0.27	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0
7. 眼及び附属器の疾患	23	1.11	7	0.75	16	1.41	3	1	2	5	1	1	2	1	2	2	0	3
8. 耳及び乳様突起の疾患	17	0.82	6	0.64	11	0.97	0	2	2	1	1	0	2	2	4	0	0	1
9. 循環器系の疾患	2	0.10	0	0.00	2	0.18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
10. 呼吸器系の疾患	401	19.41	178	19.04	223	19.72	53	54	37	38	10	12	45	52	50	37	10	3
11. 消化器系の疾患	75	3.63	34	3.64	41	3.63	6	7	12	8	2	10	8	7	5	3	5	2
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	55	2.66	24	2.57	31	2.74	7	5	4	9	2	1	14	4	3	3	0	3
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	46	2.23	16	1.71	30	2.65	1	11	7	6	3	3	4	3	3	3	0	2
14. 泌尿器系の疾患	56	2.71	2	0.21	54	4.77	5	11	8	6	1	3	7	7	6	1	0	1
15. 妊娠、分娩及び産褥	1	0.05	0	0.00	1	0.09	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	166	8.03	68	7.27	98	8.66	10	22	25	27	2	9	19	16	13	14	6	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	348	16.84	142	15.19	206	18.21	45	48	53	44	9	12	42	30	27	25	6	7
20. 傷病の外因 (再掲)	348	16.84	142	15.19	206	18.21	45	48	53	44	9	12	42	30	27	25	6	7
交通事故 (自転車も含む)	12	0.58	4	0.43	8	0.71	1	1	0	0	0	0	2	0	2	6	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	321	15.54	131	14.01	190	16.80	43	46	53	44	9	12	37	23	24	19	5	6
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	15	0.73	7	0.75	8	0.71	1	1	0	0	0	0	3	7	1	0	1	1
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	162	7.84	82	8.77	80	7.07	6	16	14	17	8	6	24	19	21	17	6	8
計	2066	100.00	935	100.00	1131	100.00	191	239	235	247	80	81	237	220	197	183	78	78

(2) 職員 (山口地区)

2019年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	108	30.77	47	25.82	61	36.09	12	8	15	8	15	10	7	10	6	8	6	3
6. 神経系の疾患	7	1.99	0	0.00	7	4.14	1	0	1	0	0	2	1	2	0	0	0	0
7. 眼及び附属器の疾患	4	1.14	1	0.55	3	1.78	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	2	0.57	1	0.55	1	0.59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9. 循環器系の疾患	2	0.57	1	0.55	1	0.59	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	31	8.83	15	8.24	16	9.47	5	2	1	1	0	2	4	5	5	2	2	2
11. 消化器系の疾患	11	3.13	4	2.20	7	4.14	1	1	2	0	0	0	3	2	1	1	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	13	3.70	8	4.40	5	2.96	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	9	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14	3.99	8	4.40	6	3.55	2	1	2	3	1	0	0	2	0	0	0	3
14. 泌尿器系の疾患	2	0.57	1	0.55	1	0.59	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	31	8.83	16	8.79	15	8.88	3	0	1	3	1	3	1	3	6	1	4	5
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	64	18.23	32	17.58	32	18.93	3	4	9	5	6	10	12	5	1	5	1	3
20. 傷病の外因 (再掲)	64	18.23	32	17.58	32	18.93	3	4	9	5	6	10	12	5	1	5	1	3
交通事故 (自転車も含む)	1	0.28	0	0.00	1	0.59	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	59	16.81	31	17.03	28	16.57	3	4	9	5	6	7	10	5	1	5	1	3
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	1.14	1	0.55	3	1.78	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	62	17.66	48	26.37	14	8.28	3	13	9	11	5	3	5	5	0	3	3	2
計	351	100.00	182	100.00	169	100.00	31	29	43	32	28	31	33	36	21	23	25	19

(3) 学生 (常盤地区)

2019年度 (常盤地区)

	総数						月別											
	男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	実数	%	実数	%														
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 精神及び行動の障害	77	11.44	68	13.55	9	5.26	13	8	7	4	9	10	7	3	3	0	0	
6. 神経系の疾患	12	1.78	9	1.79	3	1.75	2	2	0	3	1	2	0	0	1	0	0	
7. 眼及び付属器の疾患	12	1.78	10	1.99	2	1.17	4	1	0	3	1	0	0	1	0	0	0	
8. 耳及び乳突突起の疾患	1	0.15	1	0.20	0	0.00	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10. 呼吸器系の疾患	198	29.42	157	31.27	41	23.98	10	18	24	20	5	9	24	34	25	18	8	3
11. 消化器系の疾患	15	2.23	10	1.99	5	2.92	2	0	6	0	0	0	2	0	4	0	1	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	14	2.08	7	1.39	7	4.09	0	1	1	4	0	2	1	3	0	0	2	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19	2.82	10	1.99	9	5.26	1	1	3	1	4	1	2	3	1	1	0	1
14. 泌尿器系の疾患	15	2.23	0	0.00	15	8.77	1	2	2	0	0	1	1	1	3	4	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	24	3.57	18	3.59	6	3.51	3	4	3	4	0	0	4	2	2	1	1	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	172	25.56	134	26.69	38	22.22	4	28	36	27	13	3	20	8	14	16	2	1
20. 傷病の外因 (再掲)	172	25.56	134	26.69	38	22.22	4	28	36	27	13	3	20	8	14	16	2	1
交通事故 (自転車も含む)	5	0.74	5	1.00	0	0.00	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいなくは該当せず)	166	24.67	128	25.50	38	22.22	4	27	34	26	13	3	20	8	14	14	2	1
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.15	1	0.20	0	0.00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	114	16.94	77	15.34	36	21.05	10	21	7	17	3	3	15	14	11	11	2	0
計	673	100.00	502	100.00	171	100.00	37	91	98	81	38	23	74	82	63	60	19	7

(4) 職員 (常盤地区)

2019年度 (常盤地区)

	総数						月別											
	男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	実数	%	実数	%														
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 神経系の疾患	3	2.17	0	0.00	3	3.19	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳突突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.72	1	2.27	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10. 呼吸器系の疾患	38	27.54	13	29.55	25	26.60	1	6	2	1	1	0	2	8	9	5	2	1
11. 消化器系の疾患	6	4.35	1	2.27	5	5.32	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2	1.45	0	0.00	2	2.13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18	13.04	1	2.27	17	18.09	1	0	7	3	3	2	2	0	0	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	1	0.72	0	0.00	1	1.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	11	7.97	3	6.82	8	8.51	2	2	2	0	1	0	0	0	2	1	1	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	40	28.99	13	29.55	27	28.72	4	3	4	6	7	2	1	4	0	7	0	2
20. 傷病の外因 (再掲)	40	28.99	13	29.55	27	28.72	4	3	4	6	7	2	1	4	0	7	0	2
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいなくは該当せず)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	18	13.04	12	27.27	6	6.38	1	2	2	2	2	5	1	0	0	1	0	0
計	138	100.00	44	100.00	94	100.00	11	14	18	13	15	7	12	13	11	13	6	5

(5) 学生 (小串地区)

2019年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0.19	0	0.00	1	0.36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	25	4.79	12	4.96	13	4.64	2	1	0	5	0	2	3	3	4	4	1	0	0
6. 神経系の疾患	2	0.38	2	0.83	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	3	0.57	0	0.00	3	1.07	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	2	0.38	1	0.41	1	0.36	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.19	1	0.41	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	105	20.11	45	18.60	60	21.43	25	8	7	6	2	2	10	16	12	12	4	1	1
11. 消化器系の疾患	13	2.49	3	1.24	10	3.57	0	3	2	0	1	0	1	0	3	1	2	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	15	2.87	6	2.48	9	3.21	3	1	3	0	0	2	1	3	1	0	0	1	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18	3.45	13	5.37	5	1.79	1	4	4	1	1	0	2	2	2	0	1	0	0
14. 泌尿器系の疾患	12	2.30	0	0.00	12	4.29	0	3	3	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	69	13.22	33	13.64	36	12.86	7	16	3	13	1	0	7	1	0	8	9	4	4
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	77	14.75	29	11.98	48	17.14	11	11	12	13	0	5	8	7	4	0	3	3	3
20. 傷病の外因(再掲)	77	14.75	29	11.98	48	17.14	11	11	12	13	0	5	8	7	4	0	3	3	3
交通事故(自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故(ボールや人など相手がない場合は該当せず)	2	0.38	0	0.00	2	0.71	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	75	14.37	29	11.98	46	16.43	11	11	11	13	0	5	7	7	4	0	3	3	3
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	179	34.29	97	40.08	82	29.29	6	8	17	21	4	3	17	16	16	28	26	17	17
計	522	100.00	242	100.00	280	100.00	56	56	52	62	9	14	50	47	45	59	46	26	26

(6) 職員 (小串地区)

2019年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0.60	0	0.00	1	1.05	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	8	4.79	4	5.56	4	4.21	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	3
6. 神経系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	17	10.18	11	15.28	6	6.32	1	4	4	1	0	0	3	4	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	6	3.59	3	4.17	3	3.16	1	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	0.60	0	0.00	1	1.05	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	1	0.60	0	0.00	1	1.05	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	10	5.99	4	5.56	6	6.32	0	0	2	0	1	0	2	3	0	1	0	0	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9	5.39	6	8.33	3	3.16	1	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0
20. 傷病の外因(再掲)	9	5.39	6	8.33	3	3.16	1	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0
交通事故(自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故(ボールや人など相手がない場合は該当せず)	3	1.80	1	1.39	2	2.11	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6	3.59	5	6.94	1	1.05	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	114	68.26	44	61.11	70	73.68	5	6	8	5	7	11	14	8	13	15	6	16	16
計	167	100.00	72	100.00	95	100.00	9	13	14	16	7	13	23	15	16	15	6	20	20

3) 2018年度・2019年度(全地区)

(1) 学生

	学 生									
	2018年度					2019年度				
	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%
1. 感染症及び寄生中症	2	0	0	2	0.05	3	0	0	3	0.09
2. 新生物	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	1	1	0.03	0	0	0	0	0.00
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2	1	0	3	0.08	1	0	1	2	0.06
5. 精神及び行動の障害	696	83	50	829	21.17	704	77	25	806	24.72
6. 神経系の疾患	13	3	3	19	0.49	6	12	2	20	0.61
7. 眼及び付属器の疾患	39	8	4	51	1.30	23	12	3	38	1.17
8. 耳及び乳様突起の疾患	20	4	1	25	0.64	17	1	2	20	0.61
9. 循環器系の疾患	1	2	1	4	0.10	2	0	1	3	0.09
10. 呼吸器系の疾患	652	169	176	997	25.46	401	198	105	704	21.59
11. 消化器系の疾患	118	23	20	161	4.11	75	15	13	103	3.16
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	103	12	8	123	3.14	55	14	15	84	2.58
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	70	18	26	114	2.91	46	19	18	83	2.55
14. 尿路器系の疾患	65	6	17	88	2.25	56	15	12	83	2.55
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0	1	1	0.03	1	0	0	1	0.03
16. 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	230	35	55	320	8.17	166	24	69	259	7.94
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	456	120	105	681	17.39	348	172	77	597	18.31
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	205	123	169	497	12.69	162	114	179	455	13.95
計	2672	607	637	3916	100.00	2066	673	522	3261	100.00

(2) 職員

	職 員									
	2018年度					2019年度				
	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%
1. 感染症及び寄生中症	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
2. 新生物	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2	0	0	2	0.29	0	0	0	0	0.00
5. 精神及び行動の障害	166	8	21	195	27.86	108	0	21	129	19.52
6. 神経系の疾患	5	10	0	15	2.14	7	3	0	10	1.51
7. 眼及び付属器の疾患	10	4	3	17	2.43	4	0	3	7	1.06
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0.00	2	0	0	2	0.30
9. 循環器系の疾患	2	1	3	6	0.86	2	1	3	6	0.91
10. 呼吸器系の疾患	58	36	37	131	18.71	31	38	37	106	16.04
11. 消化器系の疾患	9	8	4	21	3.00	11	6	4	21	3.18
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5	5	0	10	1.43	13	2	0	15	2.27
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19	4	2	25	3.57	14	18	2	34	5.14
14. 尿路器系の疾患	3	2	1	6	0.86	2	1	1	4	0.61
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
16. 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	23	9	13	45	6.43	31	11	13	55	8.32
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	40	34	7	81	11.57	64	40	7	111	16.79
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	29	36	81	146	20.86	62	18	81	161	24.36
計	371	157	172	700	100.00	351	138	172	661	100.00

4. カウンセリング相談件数(山口地区)

保健管理センターの臨床心理士による、2018年度、2019年度のカウンセリング件数を学部別・学年別に集計した。新規受付については、前期が始まっての5.6月頃に増える傾向があった。

1)2018年度

①各学部・学年の対象者別の相談件数(新規のみ)

2018年4月1日～2019年3月31日

学部	対象者 (学年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
人文	1年生		2	7										9
	2年生	1				1								4
	3年生	1	2	1	8	1	1	2	0	0	0	1	1	2
	4年生					1								1
	留学生													0
教育	1年生			4				1						5
	2年生	1												1
	3年生	1	1	1	4	0	0	1	0	0	1	1	0	3
	4年生													0
	留学生													0
経済	1年生		1	3						1				5
	2年生									1				2
	3年生	0	1	3	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2
	4年生										1			1
	留学生													0
理	1年生	1		2	2									5
	2年生													1
	3年生	1	0	2	2	0	1	1	0	1	2	2	2	4
	4年生													2
	留学生											1	1	0
医	1年生			1										1
	2年生													0
	3年生													0
	4年生	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5年生													0
	留学生													0
工	1年生		2	4	4									10
	2年生													0
	3年生	0	3	4	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4年生								1					1
	留学生		1											1
農	1年生			4										4
	2年生						1				1			2
	3年生	0	0	5	0	1	1	0	0	0	1	2	0	1
	4年生			1										1
	留学生													0
共同獣医	1年生													0
	2年生													0
	3年生													0
	4年生	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5年生													0
	留学生													0
国際総合	1年生													0
	2年生		1								1			2
	3年生	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	4年生			1							1			3
留学生		1											1	
学部生 学年別計	1年生	1	5	25	6	0	1	0	1	0	0	0	0	39
	2年生	2	1	0	0	2	0	0	2	2	1	0	2	12
	3年生	0	1	1	0	1	1	1	1	4	1	1	1	13
	4年生	0	3	10	3	7	0	3	0	2	1	2	3	11
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	留学生	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大学院生		0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0	6
教職員		0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	4
その他		0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
計		3	12	29	7	4	4	3	6	8	5	4	4	89

②相談内容別の回数（新規＋継続）

2018年4月1日～2019年3月31日

相談内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計	
			計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		
対人関係	友人関係	3		2		2		3		1		2		3		2		3						1		22	
	研究室内の関係												2										3		1	6	
	家族関係	1	4	2	4		6		4		2		2		5		2	9	3	8	2	3	1	4	1	4	12
	学外の人間関係							1		1							5		1			1					9
	その他					4													1						1		6
修学	単位修得					2										3		4		4							13
	授業関連					1							5		1		1		1		2						10
	卒業・修了論文		0		4	2	6	1	3		1		2		5	1	11	4	15	4	15	4	15	4	10	2	16
	学生生活全般					1		2		1		2				2		4		2		2		3			17
	その他			4												4		2		3		3		3		2	18
進路・就職	転部・転科																										0
	進路			2		1										1		1					2		2		9
	就職	2	2		2		1	2	2		0		0		0	1	2		1		1	1	1	3		2	7
	その他																										0
心身問題	心理的問題	4		5		14		5		7		8		7		9		5		5		3		3			75
	精神保健			2														1									3
	健康問題	1	5		7	2	17		7	1	8	1	9	1	8	2	11	4	10	1	6		3		3	13	
	その他					1		2																			3
その他	人権問題																										0
	経済問題																										0
	その他		0	1	5		25		3		0		0		0		0		0		0		0		0	1	33
	UPI・SDS呼び出し			4		25		3																			32
計		11		22		55		19		11		13		18		33		34		25		20		11		272	

2)2019年度

①各学部・学年の対象者別の相談件数(新規のみ)

2019年4月1日～2020年3月31日

学部	対象者 (学年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
人文	1年生	1		1	2				1		1			6
	2年生									1				2
	3年生	1	1	1	2	1	0	1	2	1	1			2
	4年生		1				1		1					3
	留学生													0
教育	1年生			2	4	1								7
	2年生									1				1
	3年生	1	1	2	4	1	0	1	0	1	1	1	0	3
	4年生	1	1						1					3
	留学生													0
経済	1年生			4	2				1			1		8
	2年生							1	1					2
	3年生	1	1	0	4	2	0	1	2	1	2	0	1	3
	4年生								1					2
	留学生											1		0
理	1年生	1		8	1				1					12
	2年生													1
	3年生	1	0	1	11	1	0	0	2	3	1	1	1	4
	4年生			2							1			3
	留学生													0
医	1年生	1	1	1	1									5
	2年生													0
	3年生													0
	4年生	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	5年生													0
	6年生 留学生													0
工	1年生	2		6	3				3					14
	2年生									1				1
	3年生	2	0	6	3	0	0	0	3	1	0	0	1	1
	4年生													0
	留学生													0
農	1年生			1	1									2
	2年生													1
	3年生	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	4年生						1							1
	留学生													0
共同 獣医	1年生		1											1
	2年生													0
	3年生													0
	4年生	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	5年生												1	1
	6年生 留学生													0
国際 総合	1年生			2										2
	2年生				1									1
	3年生	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	4年生							1						1
	留学生													0
学部生 学年別 計	1年生	5	2	25	14	1	0	0	6	0	3	1	0	57
	2年生	0	0	0	1	0	1	1	2	3	1	0	0	9
	3年生	2	2	2	0	2	1	3	0	0	2	2	2	16
	4年生	1	2	2	29	15	2	3	1	3	7	0	4	13
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	留学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院生		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	3
教職員		0	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	0	4
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		8	6	31	15	4	3	8	9	4	8	5	2	103

②相談内容別の回数（新規＋継続）

2019年4月1日～2020年3月31日

相談内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計
			計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計			
対人関係	友人関係	3		3		4		5		2		1		2		7		5		5		1				38
	研究室内の関係											1		2		1		3						2		9
	家族関係	4	7	3	6	2	15	2	9	1	4	2	4	3	10	8	20	10	22	4	15		1		3	39
	学外の間人関係					3		2						3		1		4		3						16
	その他					6				1						3				3				1		14
修学	単位修得			2		1		2								1				1		2				9
	授業関連	1		3		4		3		3		2		6		3				6		1		2		34
	卒業・修了論文		7		10		13		13		6		5	1	18	3	9		7	4	21	2	11	3	10	13
	学生生活全般	4		3		6		6		1		2		9		1		5		9		5		4		55
	その他	2		2		2		2		2		1		2		1		2		1		1		1		19
進路・就職	転部・転科																									0
	進路	2		2																						4
	就職	5	7	4	6	1	1	3	3	1	1		0	1	1		0		0	5	5	5	5	8	8	33
	その他																									0
心身問題	心理的問題	5		5		11		8		6		4		11		16		9		7		9		7		98
	精神保健																									0
	健康問題		5		5		11	1	9	1	7		4		11		16		9		7		9		7	2
	その他																									0
その他	人権問題																									0
	経済問題																									0
	その他		0		0		22		13		1		0		0		1		0		0		0		0	0
	UPI・SDS呼び出し					22		13		1						1										37
計		26		27		62		47		19		13		40		46		38		48		26		28		420

VI 保健管理センターの業務その他

VI保健管理センターの業務その他

1. 保健管理センターの業務内容

山口大学保健管理センターは、1970年に山口大学の保健管理に関する専門的業務を行う厚生補導施設として設置されて以降、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的として以下の業務を行っている。

1. 定期及び臨時の健康診断ならびに精神衛生管理
2. 身体及び精神的健康相談
3. 環境衛生及び感染症の予防、蔓延の防止
4. 保健衛生に関する知識の普及
5. 保健管理の実施に関する企画、立案
6. 保健管理に関する調査、研究
7. その他保健管理に関する必要な専門的業務

2. 保健管理センターの関係職員

2018年4月時点

地 区	職種・人数
吉田地区	医師2名、保健師3名、看護師1名、カウンセラー1名 事務職員(学生支援課支援企画係長)1名、事務補佐員1名
小串地区	医師1名、保健師1名、看護師1名
常盤地区	医師1名、保健師1名、看護師1名

非常勤医師 21名

3. 保健管理センター一年間主要行事

1) 2018年度

	主な健康診断及び行事		主な健康診断及び行事
4月	3日 入学式救護 3～7日 新入生健康診断 6日 職員一般定期健康診断(光附属) 10～19日 学生定期健康診断(吉田地区) 13・17・18・27日 学生特別健康診断(空手部) 18日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 23～26日 学生定期健康診断(常盤地区) ※学生定期健康診断再検査(早朝尿・尿糖・聴力・ECG・X線)	10月	3・4日 全国大学保健管理研究集会(東京) 12日 秋季入学生健康診断(吉田・常盤地区) 15日 保健管理センター便り259号発行 15・16・17日 学生特別健康診断(教育学部ロードレース実習) 16日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 17日 姫山祭食中毒予防講習会(吉田地区) 19日 常盤祭食中毒予防講習会(常盤地区) 23日 保健管理センター会議
5月	7・8日 学生定期健康診断(小串地区) 9日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 11日 健康診断証明書発行開始(吉田地区) 15日 保健管理センター便り257号発行 15日 健康診断証明書発行開始(常盤地区) 22日 健康診断証明書発行開始(小串地区) 22日 保健管理センター会議 ※学生定期健康診断再検査(早朝尿・尿糖・聴力・ECG・X線・血圧・診察) ※健康調査に基づく新入生呼出	11月	2日 山口県立大学看護学部実習生受入 5・6・7日 学長杯駅伝大会健康診断 7・9日 学生特別健康診断(空手部) 12日 学長杯駅伝大会前救急講習会 20日 教育学研究科入学試験救護 23日 学長杯駅伝大会救護 27日 推薦入試救護 27日 保健管理センター会議
6月	2日 工学部編入学試験救護 6・13日 学生特別健康診断(教育学部水泳実習) 11日 七夕祭食中毒予防講習会 19日 子宮頸がん体検検診及び講演会 26日 保健管理センター会議 ※第1回電離放射線健康診断(問診票判定) ※健康調査に基づく新入生呼出	12月	6・7日 大学生協「健康の森」協力 10日 山口県内大学保健管理担当者(看護職)情報交換会 11日 部活動講習会(医療講習会) 14日 創成科学研究科(工)入学試験救護 25日 保健管理センター会議 ※第2回電離放射線健康診断(問診票判定)
7月	1日 保健管理センター便り258号発行 4・10日 第1回電離放射線健康診断(吉田地区) 5日 第1回特殊健康診断(吉田地区) 5・6日 第1回電離放射線健康診断・ 特殊健康診断(小串地区) 11・18日 第1回電離放射線健康診断(常盤地区) 17日 第1回特殊健康診断(常盤地区) 17・18日 学生特別健康診断(教育学部キャンプ実習) 17・18・20日 学生特別健康診断(サイクリング部) 24日 保健管理センター会議 25～31日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定・特殊健康診断(山口附属・吉田)	1月	15日 保健管理センター便り260号発行 19・20日 センター入試救護 22日 第2回電離放射線健康診断・ 特定・特殊健康診断(常盤地区) 22日 保健管理センター会議 22・23・29・30日 第2回電離放射線・ 特定・特殊健康診断(吉田地区) 24日 推薦入試救護 25日 医学系研究科入学試験救護 25日 獣医師国試用健康診断
8月	1～3日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定・特殊健康診断(山口附属・吉田) 3・4日 オープンキャンパス救護(3日:常盤・小串, 4日:吉田) 5・6日 創成科学研究科(理)入学試験救護 7日 医学系研究科入学試験救護 8日 創成科学研究科(工)入学試験救護 20日 共同獣医学部動物感染症総合実習に関する採血 22～24日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定健康診断(常盤地区) 28日 学生特別健康診断(空手部) 28日 保健管理センター会議 29～31日 中国・四国大学保健管理研究集会(鳥取)	2月	1日 獣医師国試用健康診断 6日 国際総合科学部ガイダンス協力 6・7・8日 学生特別健康診断(サイクリング部) 7・8日 第2回電離放射線・ 特殊健康診断(小串地区) 25・26日 一般入試救護(前期試験) 27日 保健管理センター会議 ※保健管理センター年報No.21 WEB発行
9月	3日 学生特別健康診断(空手部) 10～20・25・27日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定健康診断(小串地区) 11～14日 AO入試救護 25日 保健管理センター会議 26・28日 秋季入学生健康診断(吉田地区)	3月	4日 医学系研究科入学試験救護 5日 中国四国大学地方部会出席(岡山) 7・8日 第2回特定健康診断(小串地区) 12・13日 一般入試救護(後期試験) 14・15日 フィジカルヘルスフォーラム(山形) 20日 卒業式救護 26日 保健管理センター会議 ※健康ガイド(保健管理センター便り新入生特集号)発行

2) 2019年度

	主な健康診断及び行事		主な健康診断及び行事
4月	2・3・5・6日 新入生健康診断 3日 入学式救護 5日 職員一般定期健康診断(光附属) 9～18日 学生定期健康診断(吉田地区) 16・17・22・23日 学生特別健康診断(空手部) 19日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 22～25日 学生定期健康診断(常盤地区) 24日 保健管理センター会議 ※学生定期健診再検査(早朝尿・尿糖・聴力・ECG・X線)	10月	1日 保健管理センター便り264号発行 1・7日 秋季入学生等健康診断(吉田・常盤地区) 8日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 9・10日 全国大学保健管理集会(北海道) 17日 姫山祭食中毒予防講習会 18日 常盤祭食中毒予防講習会 21・29日 学生特別健康診断(教育学部ロードレース実習) 29日 保健管理センター会議 29日 教育学研究科入学試験救護
5月	13日 学生特別健康診断(空手部) 13・14日 学生定期健康診断(小串地区) 15日 健康診断証明書発行開始(吉田地区) 15日 保健管理センター便り262号発行 17日 健康診断証明書発行開始(常盤地区) 22日 (臨時)電離放射線健康診断(小串地区) 28日 保健管理センター会議 29日 健康診断証明書発行開始(小串地区) ※学生定期健診再検査(早朝尿・尿糖・聴力・ECG・X線・血圧・診察) ※健康調査に基づく新入生呼出	11月	1日 山口県立大学看護実習生受入 1・5・6・13・14日 学長杯駅伝大会健康診断 13日 学長杯駅伝大会前救急講習会 24日 学長杯駅伝大会救護 26日 推薦入試救護
6月	5日 七夕祭食中毒予防講習会 8日 工学部編入学試験救護 25日 保健管理センター会議 ※第1回電離放射線健康診断(問診票判定) ※健康調査に基づく新入生呼出	12月	3日 保健管理センター会議 9日 大学生協「健康の森」協力 13日 創成科学研究科(工)入学試験救護 ※第2回電離放射線健康診断(問診票判定)
7月	4・5日 第1回電離放射線・ 特殊健康診断(小串地区) 9日 第1回特殊健康診断(常盤地区) 9・10日 第1回電離放射線健康診断(吉田地区) 10日 保健管理センター便り263号発行 10・12日 第1回電離放射線健康診断(常盤地区) 20日 医学部医学科編入学試験救護 23日 保健管理センター会議 24～31日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定・特殊健康診断(山口附属・吉田) 30・31日 学生特別健康診断(サイクリング部)	1月	10日 保健管理センター便り265号発行 18・19日 センター入試救護 21・22・28・29日 第2回電離放射線・ 特定・特殊健康診断(吉田地区) 22日 第2回電離放射線健康診断(常盤地区) 23日 推薦入試救護 23日 獣医師国試用健康診断 24日 医学系研究科入学試験救護 28日 保健管理センター会議
8月	1・2日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定・特殊健康診断(山口附属・吉田) 3・4日 創成科学研究科(理)入学試験救護 5・6日 学生特別健康診断(教育学部キャンプ実習) 5・6・10・21・22日 学生特別健康診断(サイクリング部) 7・8日 医学系研究科入学試験救護 9・10日 オープンキャンパス救護(9日:常盤・小串、10日:吉田) 21日 創成科学研究科(工)入学試験救護 21～23日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定健康診断(常盤地区) 26日 共同獣医学部動物感染症総合実習に関する採血 27日 保健管理センター会議 28～30日 中国四国大学保健管理研究集会(愛媛)	2月	4日 第2回特定・特殊健康診断(常盤地区) 7日 こどもたちの大切な命を守るための講習会 7日 国際総合科学部ガイダンス協力 12・17日 学生特別健康診断(サイクリング部) 13日 教育学研究科入学試験救護 13・14日 第2回電離放射線・ 特殊健康診断(小串地区) 14日 やまぐち教育フォーラム救護 25日 保健管理センター会議 25・26日 一般入試(前期試験)救護
9月	2・4日 学生特別健康診断(空手部) 10～20日 職員一般定期健康診断・ 第1回特定健康診断(小串地区) 11～13日 AO入試救護 11～13日 医学系研究科入学試験救護 14日 医学部医学科編入学試験救護 24日 保健管理センター会議 25・27日 秋季入学生等健康診断(吉田地区)	3月	2日 医学系研究科入学試験救護 3日 中国四国大学地方部会WMT(岡山) 9・10日 第2回特定健康診断(小串地区) 12・13日 一般入試(後期試験)救護 18日 フィジカルヘルスフォーラム(WMTで開催) 24日 卒業式救護 24日 保健管理センター会議 ※健康ガイド(保健管理センター便り新入生特集号)発行

『METASEQUOIA NO.22』執筆・監修分担

- I 学生の健康管理 : 奥屋 茂、山本直樹、梅本智子、森福織江、藤勝綾香
II 職員の健康管理 : 森本宏志、山本直樹、梅本智子、森福織江、中原敦子、小林久美、藤勝綾香
III 山口大学の安全衛生管理 : 森本宏志、小林久美
IV 特別事業報告 : 奥屋 茂、藤勝綾香
V 保健管理センター利用状況 : 奥屋 茂、森福織江、片岡眞穂
VI 保健管理センターの業務その他: 奥屋 茂、藤勝綾香、濱井晴美

保健管理センター関係職員 (2021年3月現在)

職名	氏名	備考
教授(所長)	奥屋 茂	内科学
教授(副所長)	山本直樹	内科学
准教授	森本宏志	内科学、公衆衛生学
保健師	森福織江	
保健師	小林久美	
保健師	藤勝綾香	
保健師	梅本智子	工学部分室
保健師	中原敦子	医学部分室
看護補佐員	原田有希子	看護師
看護補佐員	住田知子	看護師(工学部分室)
看護補佐員	波多野弘美	看護師(医学部分室)
事務補佐員	濱井晴美	
学生支援課支援企画係長	桂 仁	保健管理センター事務担当
助教	樋口尚子	神経精神医学(非常勤)
カウンセラー	片岡眞穂	臨床心理士(非常勤)

METASEQUOIA NO.22

2018年度・2019年度

山口大学保健管理センター年報

2021年3月発行

ISSN 1340-7317

編集・発行 山口大学保健管理センター

住 所 〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL 083-933-5160

FAX 083-933-5163

E-mail hoken@yamaguchi-u.ac.jp

URL <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~hoken/>
